令和7年度

橋梁長期保全事業

僧原上橋橋梁補修工事

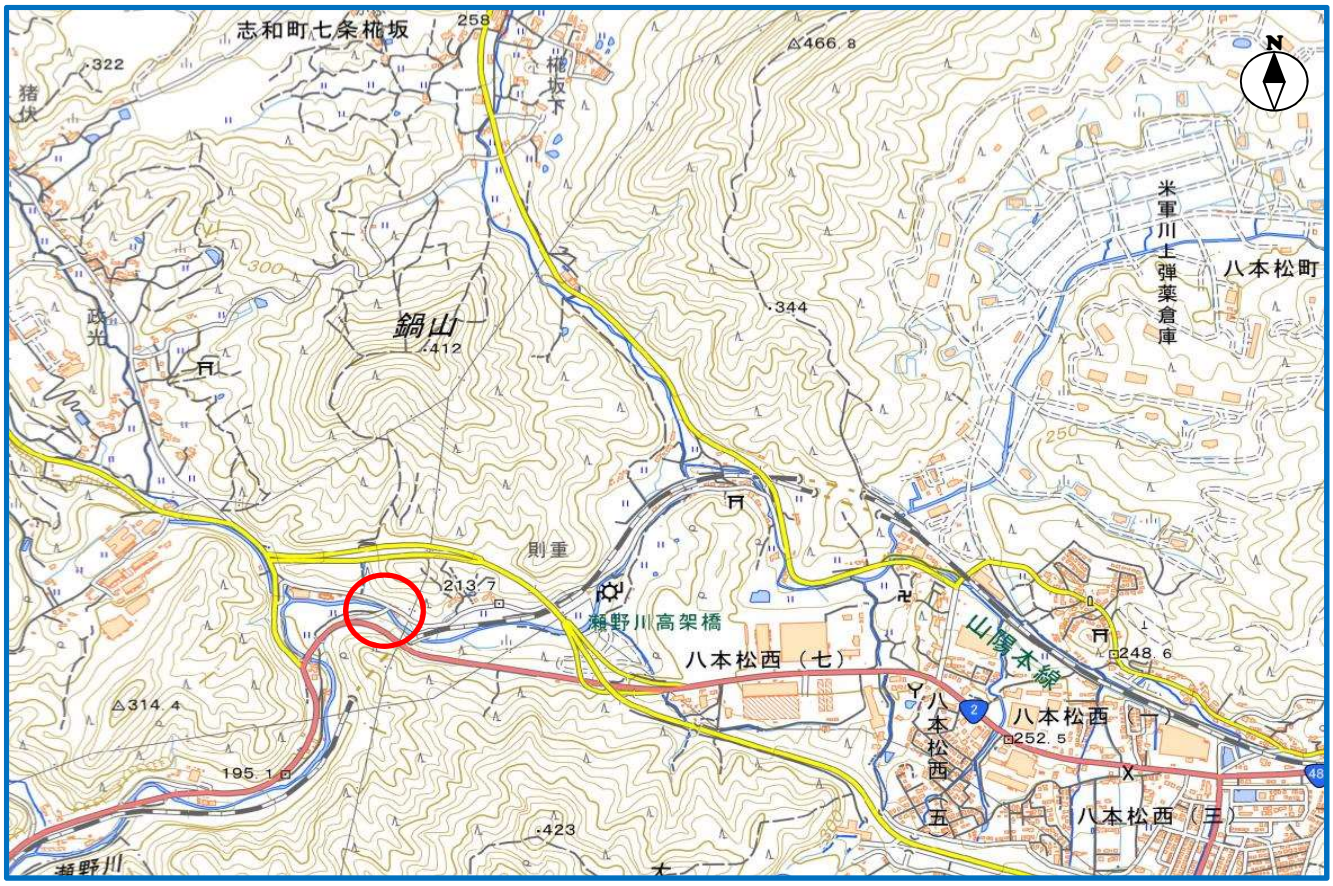
仕様書

施　工　場　所　　東広島市志和町七条椛坂

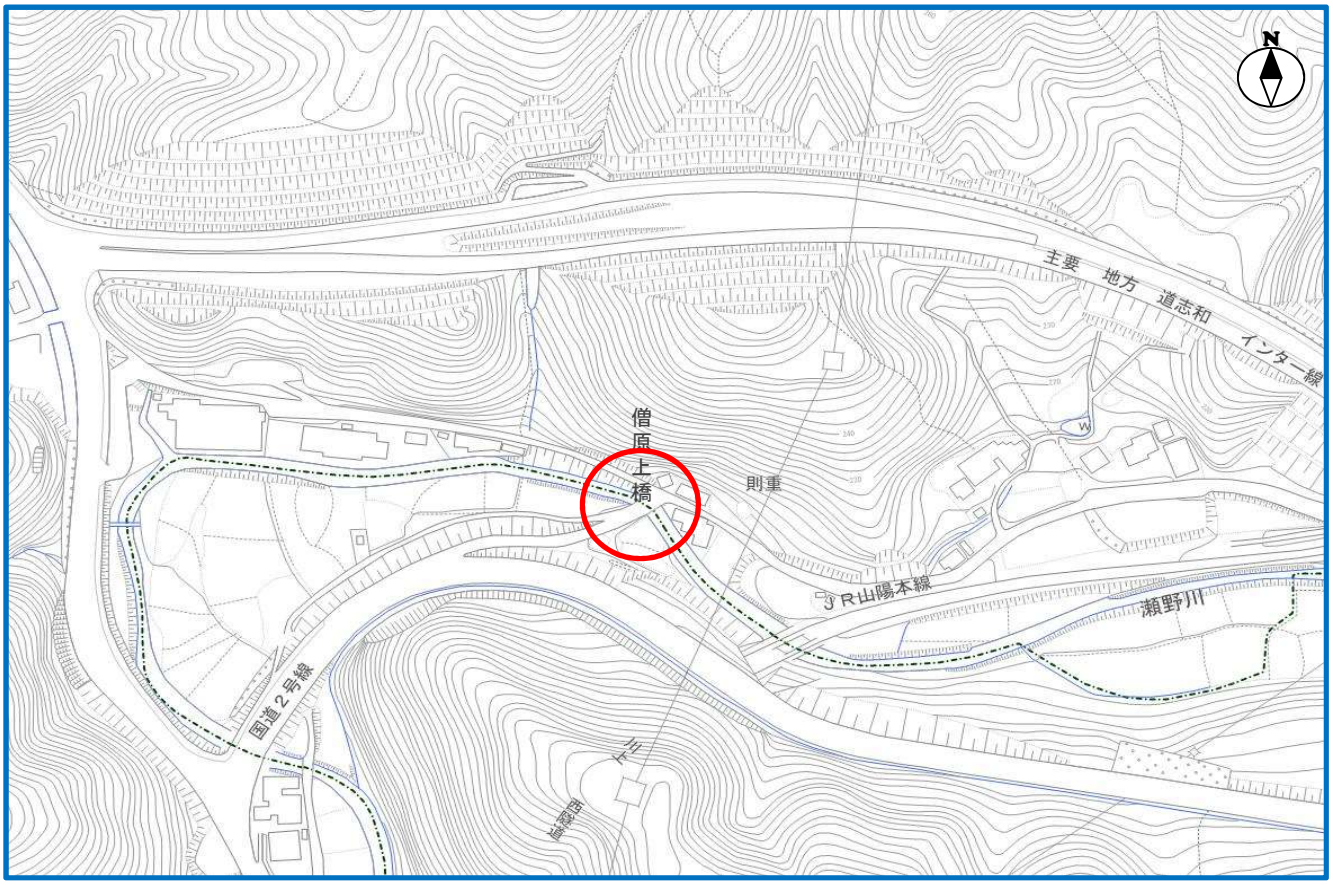
東広島市

位置図　　令和7年度　橋梁長期保全事業　僧原上橋橋梁補修工事

橋梁名：　僧原上橋　　町名：　志和町七条椛坂



詳細図



特　記　仕　様　書

（令和7年度　橋梁長期保全事業　僧原上橋橋梁補修工事）

第1章　総則

1.　適用
2.　前払金
3.　現場代理人の兼務
4.　現場作業終期日
5.　履行報告
6.　官公庁等への手続き等
7.　工事中情報共有システム（発注者指定型）
8.　熱中症対策に資する現場管理費の補正
9.　主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
10.　法定外の労災保険の付保
11.　週休２日適用工事等
12.　建設副産物の取り扱いについて

第2章　工事材料

1.　見本・品質証明資料
2.　品質規格証明資料等
3.　溶融スラグを利用した資材の使用

第3章　施工条件

1.　工程
　(1) 関係機関との協議
2.　安全対策
　(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
　(2) 架空線の防護管に要する費用について
3.　建設副産物
　(1) 建設発生土(搬出)　(建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))
　(2) コンクリート殻（有筋）(搬出)
　(3) コンクリート殻（無筋）(搬出)
　(4) アスファルト殻(搬出)
4.　その他
　(1) 新技術・新工法・特許工法の指定

第4章　施工管理

1.　品質管理
　(1) 断面修復工

第5章　その他

1.　工事関係書類
2.　工事写真
3.　疑義の解決等
4.　仮設工

特　記　仕　様　書

第1章　総則

1.　適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和６年８月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。

この場合においては、次のとおりとする。

(1)　「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。(ただし、第1編第1章第1節1-1-1-25第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。)

(2)　「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。

(3)　「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。

(4)　「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。

(5)　「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。

(6)　「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。

(7)　「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。

(8)　「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。

(9)　「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。

(10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と読み替える。

(11)「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。

(12)「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見　出　し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産木材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2.　前払金

契約金額が50万円以上の建設工事の場合は前払金を請求することができる。前払金は請負代金の40%以内とする。また、契約に当たって契約約款特約事項第22項により中間前払金を選択するものにあっては、中間前払金は請負代金の20%以内とする。その他、前金払・中間前金払の適用は次の要領による。

・建設工事請負代金前金払実施要領
・建設工事請負代金中間前金払実施要領
・東広島市余裕期間制度適用工事に係る事務取扱要領

3.　現場代理人の兼務

1　現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

2　発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。

3　発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。

⑴ 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
⑵ 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を定める条例(平成元年東広島市条例第６号)第１条第１項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
⑶ 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
⑷ 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
⑸ 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
⑹ その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき

4　重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。

※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあっては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあっては平成17年2月7日前の町の区域とする。

4.　現場作業終期日

本工事の施工に当たっては、工期末の30日前までに、下記の作業を終了しなければならない。

なお、現場作業終期日までに適時、速やかに「土木工事共通仕様書（令和６年８月）広島版」第1編1-1-1-22第2項第3号に記載してある出来高が確認できる資料を監督職員に提出しなければならない。

5.　履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図（施工済み箇所を着色）又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月７日までに提出すること。

6.　官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

7.　工事中情報共有システム（発注者指定型）

（１）本工事は、工事中情報共有システムの対象（発注者指定型）である。
（２）工事中情報共有システムの利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
（３）本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。
　　広島県工事中情報共有システム（一般社団法人　広島県土木協会）
　　http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html

（4）工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
（5）利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
（6）運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。
この場合においては、次のとおりとする。
1）「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定（広島県）」および「土木工事監督実施要領（広島県）」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定（広島県）」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準（広島県）」とあるのは「土木工事検査技術基準（東広島市）」と読み替えるものとする。
2）「CAD製図基準（国土交通省）」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン（国土交通省）」は適用しない。
3）「4.検査」は適用しない。
4）検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
5）受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

8. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
（1） 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
（2） 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間（12月29日～1月3日）、夏季休暇3日間（国民の祝日である山の日の次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。）、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。）期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
（3） 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数（WBGT）が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数 （WBGT）を対象とする。
（4） 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数（WBGT）を用いることを標準とする。
（5） 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間（計測開始日、計測終了予定日）を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
（6） 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
（7） 積算方法は次のとおりとする。
1）補正方法
ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
ウ 補正値（%）＝真夏日率×1.2
2）補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
（8） 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
（9） 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

9. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について
東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

10. 法定外の労災保険の付保

1　本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
2　受注者は、建設工事請負契約約款第４７条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
3　法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、（公財）建設業福祉共済団、（一社）全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、（一社）全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

11.　週休２日適用工事等

本工事は、週休２日適用工事（発注者指定型）であり、「東広島市週休２日適用工事等実施要領（最新版）」又は「東広島市週休２日適用工事等実施要領（農林工事）（最新版）」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要のある様式「休日取得計画表」は「検査課HP＞施工関連資料＞週休２日適用工事等の実施について」に掲載している。

12.　建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

1　再生資源利用計画及び再生資源促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（５の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2　計画の掲示及び公表

受注者は、１の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3　実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から５年間保存しなければならない。

4　工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5　建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m3以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第３条第７項又は第４条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第１項、第16条第１項、第30条第１項又は第35条第１項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第１項、第27条第１項、第28条第１項又は第40条第１項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6　運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7　確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8　確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後５年間保存するものとする。

9　建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

(1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地

(2) 建設発生土を搬出先の受注者の商号、名称又は氏名

(3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地

(4) 建設発生土の搬出量

(5) 建設発生土の搬出が完了した日

10　建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11　受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12　受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後５年間保存するものとする。

13　建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する９（1）～（5）に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後５年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

(1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合

(2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合

(3) ストックヤード運営事業者登録規定により国に登録されたストックヤード

(4) ９の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章　工事材料

1.　見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた

後に行うものとする。

区　分	材　料　名	摘　要
鋼材	異形棒鋼	
セメント及び混和材		
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

2.　品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区　分	材　料　名	摘　要
鋼材	異形棒鋼	
セメント及び混和材	セメント系固化材	
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

3.　溶融スラグを利用した資材の使用

1.　溶融スラグを利用した資材の使用

再生加熱アスファルト混合物、プレキャストコンクリート製品、再生路盤材及び埋戻材等については、広島中央環境衛生組合が製造する溶融スラグ（以下「溶融スラグ」という。）を利用した資材を使用するよう努めるものとする。溶融スラグ利用及び使用する資材にあたっては「溶融スラグの有効利用促進等に関する方針」「溶融スラグ有効利用ガイドライン【品質編】、【運用編】」に準拠するものとする。

なお、これにより難い場合は、監督職員と協議すること。

2.　品質管理及び確認

1.で示したもののほか、溶融スラグを利用した資材の使用における品質の管理及び確認は、広島版「土木工事共通仕様書(令和６年８月)」及び広島版「施工管理基準(令和６年８月)」によるものとする。ただし、書類により品質が確保できる項目においても、監督職員が必要と認めるものは現場検収を実施できるものとする。

3.　再生加熱アスファルト混合物への使用

溶融スラグを再生加熱アスファルト混合物に使用する場合、広島版「土木工事共通仕様書(令和６年８月)」の「1-1-2-16　環境対策」に示す登録リサイクル製品の使用は適用しないものとする。

４．適合規格

溶融スラグの適合規格については、広島版「土木工事共通仕様書(令和６年８月)」に記載の適合規格（「2-2-3-1 一般事項　1.」）ではなく、「JIS A 5031 一般廃棄物，下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材」を適用するものとする

第3章　施工条件

1.　工程

(1) 関係機関との協議

協議内容　　河川管理者（広島県）と河川占用の許可及び河川管理者（漁協）と協議後着手

範囲　　橋面工を除く範囲

2.　安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員　・交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から20日間(2人／日)を見込んでいる。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた

場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。
設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

3. 建設副産物

(1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積)を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用(単価)は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更する場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

砂・砂質土・礫質土

(名称) カワモトリサイクルセンター

(所在地) 東広島市志和町内字塚土山10001

(運搬距離) 9.4ｋｍ

(2) コンクリート殻（有筋）(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻（有筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 4.6ｋｍ を見込んでいる。

(3) コンクリート殻（無筋）(搬出)

当該工事により発生するコンクリート殻（無筋）は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 4.6ｋｍ を見込んでいる。

(4) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 1.4ｋｍ を見込んでいる。

4. その他

(1) 新技術・新工法・特許工法の指定

内容 IPH工法（内圧充填接合補強）

第4章 施工管理

1. 品質管理

(1) 断面修復工

本工事において、断面修復工の品質管理は下記のとおり行うこと。

試験項目	試験方法	規格値	測定箇所	摘 要
引張強度試験		1.5N/㎜2以上	供試体	

第5章 その他

1. 工事関係書類

⑴ 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領 -土木工事編-によるものとする。
⑵ 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準(令和６年８月)」によるものとし、工事写真の提出部数は、工事写真帳と原本(電子媒体)を各1部提出する。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 仮設工

仮設工（任意）については、事前に設置方法を施工計画書にまとめ、監督職員へ提出すること。
なお、仮設方法については、正当な理由がある場合は、請負代金額の変更対象とする。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
橋梁保全工事		式		1	レベル1
道路土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
掘削	土砂	m3		20	レベル4
路体盛土工		式		1	レベル3
路体(築堤)盛土	軽量盛土材	m3		20	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
土砂等運搬	土砂	m3		20	レベル4
残土等処分		m3		20	レベル4
橋梁補修工		式		1	レベル2
橋梁地覆補修工		式		1	レベル3
コンクリート	24N	m3		4	レベル4
コンクリート削孔	削孔長140～150mm 無収縮モルタル	本		246	レベル4
鉄筋	SD345 D13	t		0.24	レベル4
型枠	一般型枠	式		1	レベル4
断面修復工		式		1	レベル3
左官工法	ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む　V=0.64m3	構造物		1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
左官工法	ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む　V=0.02m2	構造物		1	レベル4
強度回復工		式		1	レベル3
内圧充填接合補強工	IPH工法	m2		60	レベル4
表面保護工		式		1	レベル3
下地処理工	高圧洗浄	m2		157	レベル4
含浸材塗布工	ケイ酸塩系ナトリウム含浸材	m2		157	レベル4
橋脚補強工		式		1	レベル3
コンクリート	24N	m3		2	レベル4
コンクリート削孔	削孔長240～310mm 無収縮モルタル	本		37	レベル4
鉄筋	SD345_D16～D25	t		0.08	レベル4
型枠	一般型枠	式		1	レベル4
基礎根固め工		式		1	レベル3
コンクリート	無収縮モルタル	m3		1	レベル4
型枠	一般型枠	式		1	レベル4
洗堀防止工		式		1	レベル3
ふとんかご	1.2×2.0×0.5	式		1	レベル4
橋梁付属物工		式		1	レベル3
水切工		m		19	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
ベースプレート式ガードレール	C種 笠木付き	m		20	レベル4
コンクリート削孔	削孔長170～250mm 無収縮モルタル	本		48	レベル4
橋面工		式		1	レベル2
橋面防水工		式		1	レベル3
橋面防水工		m2		74	レベル4
舗装打換え工		式		1	レベル3
表層	再生密粒度As(20) 1層当り平均仕上厚60mm	m2		74	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2
構造物取壊し工		式		1	レベル3
コンクリート構造物取壊し		m3		1	レベル4
舗装版切断	アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	式		1	レベル4
舗装版破砕	アスファルト舗装版	m2		59	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	コンクリート殻（無筋）	m3		1	レベル4
殻運搬	コンクリート殻（鉄筋）	m3		1	レベル4
殻運搬	アスファルト殻	m3		4	レベル4
殻処分	コンクリート殻（無筋）	t		2	レベル4
殻処分	コンクリート殻（鉄筋）	t		2	レベル4

工事数量総括表

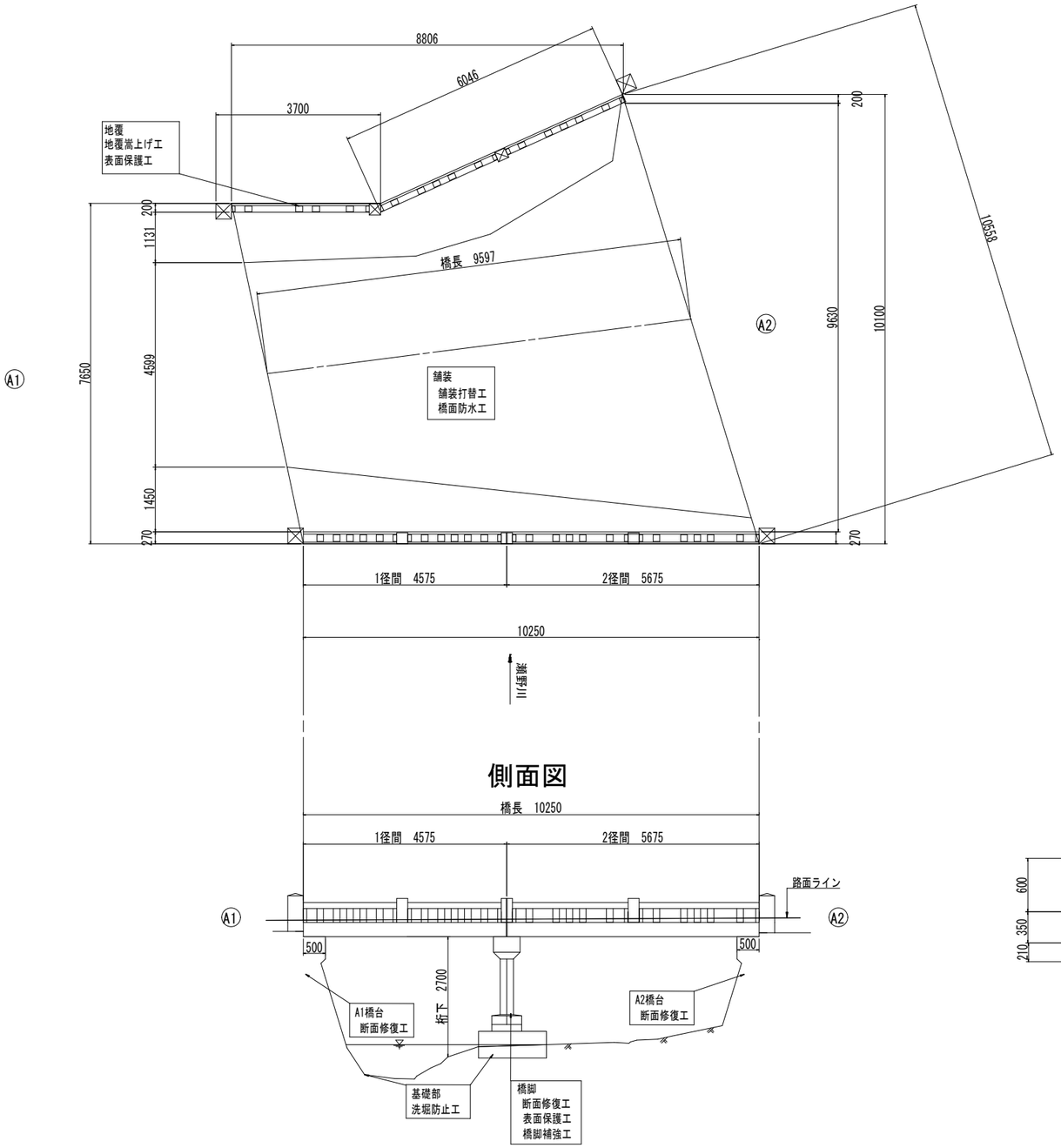
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
殻処分	アスファルト殻	t		8	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
土留・仮締切工		式		1	レベル3
仮設足場工		式		1	レベル3
吊足場		式		1	レベル4
足場支保工	手摺先行型枠組足場	式		1	レベル4
水替工		式		1	レベル3
仮水路工		式		1	レベル3
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		20	レベル4
＊＊直接工事費＊＊					
共通仮設費率分					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分					
契約保証費					

工事数量総括表

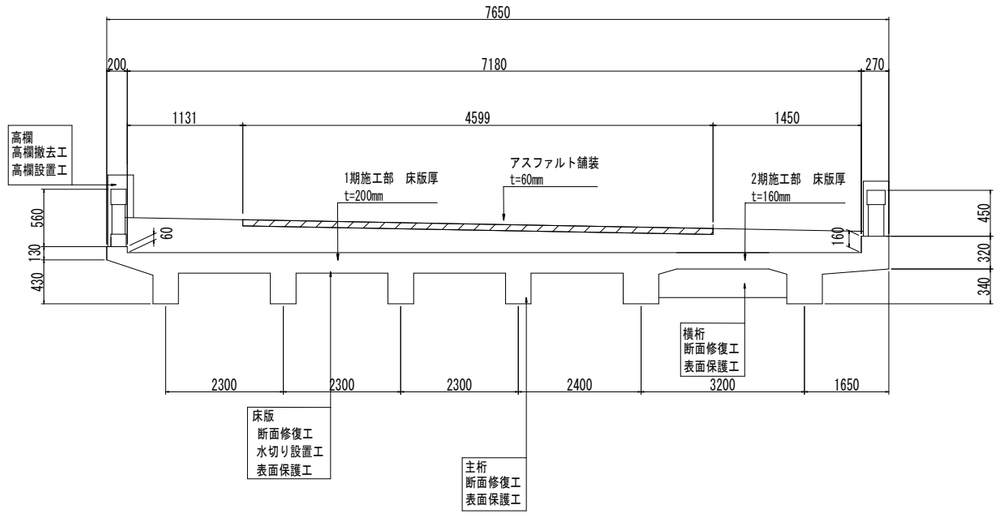
費目・工種明細など		規格1・規格2	単位		数量	備考
一般管理費計						
＊＊工事価格＊＊						
＊＊消費税相当額＊＊						
＊＊工事費計＊＊						
＊＊契約保証費計＊＊						

僧原上橋　補修一般図　S=1:60

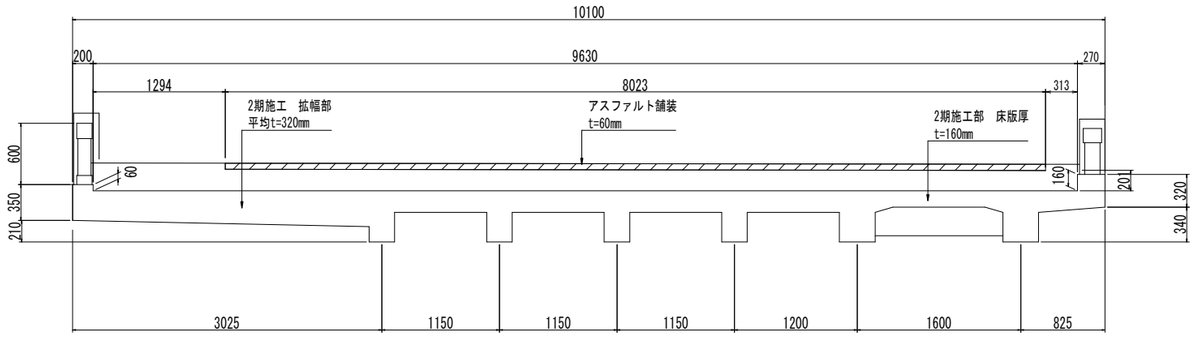
平面図



A1側　断面図　S=1:30



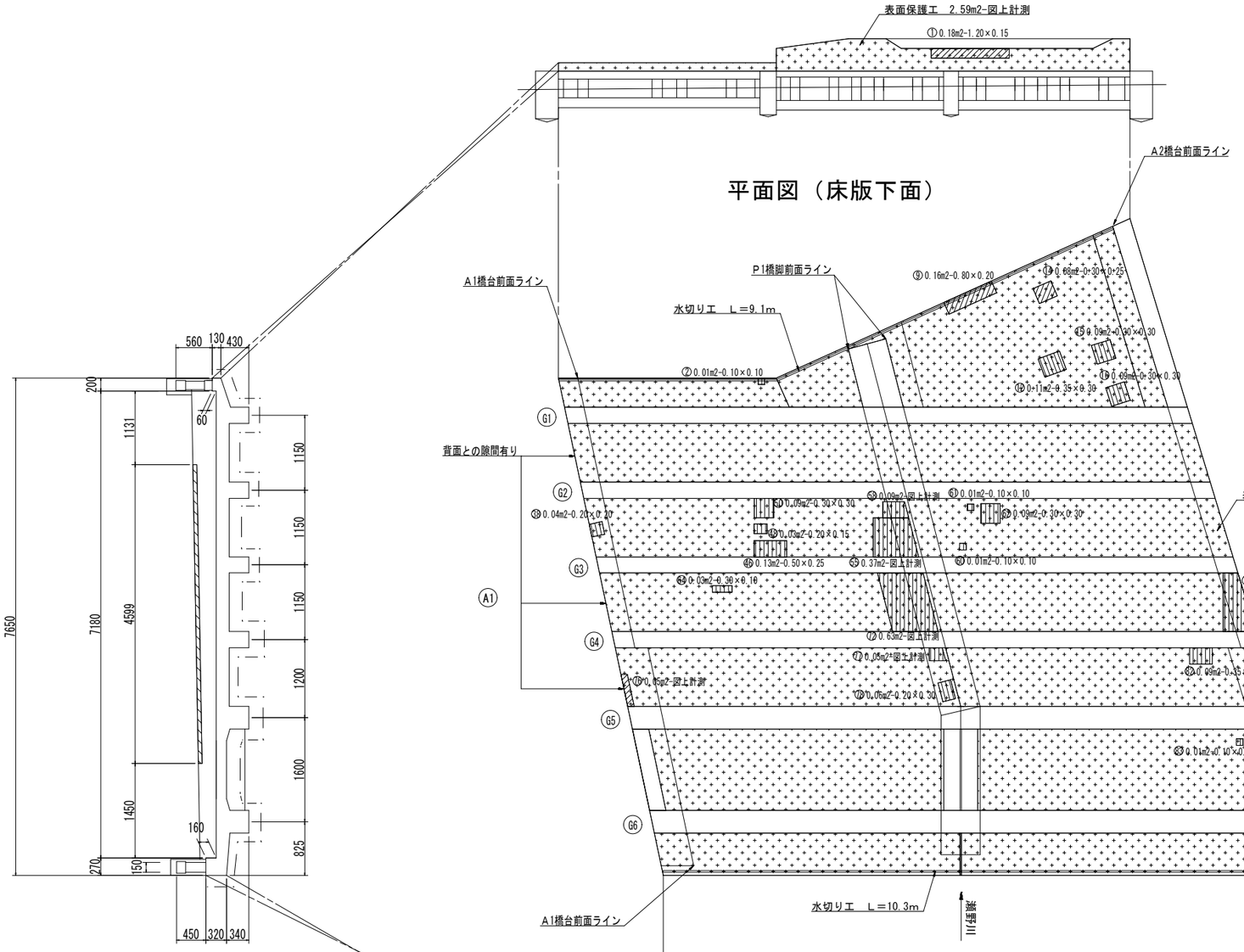
A2側　断面図　S=1:30



工事名	僧原上橋橋梁補修工事		
図面名	補修一般図		
縮　尺	図　示	図面番号	1/16
工事箇所	東広島市志和町七条椛坂		
事業者名	東　広　島　市		

僧原上橋　床版下面・側面・地覆補修図　S=1:40

下流側　床版側面・地覆

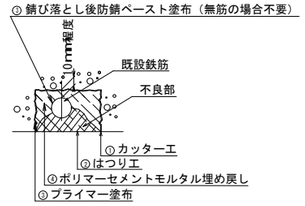


平面図（床版下面）

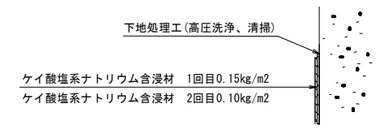
A1側　側面図

断面修復工
（左官工法）

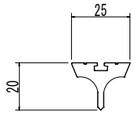
d＝5ｃｍ



表面保護工



水切工断面形状
独立気泡スポンジ（ＥＰＤＭゴム系）



表面保護工数量表

部　位	計算式	面積m2
地　覆	図上計測	5.86
床　版	〃	63.69
合　計		69.55

補修工法凡例

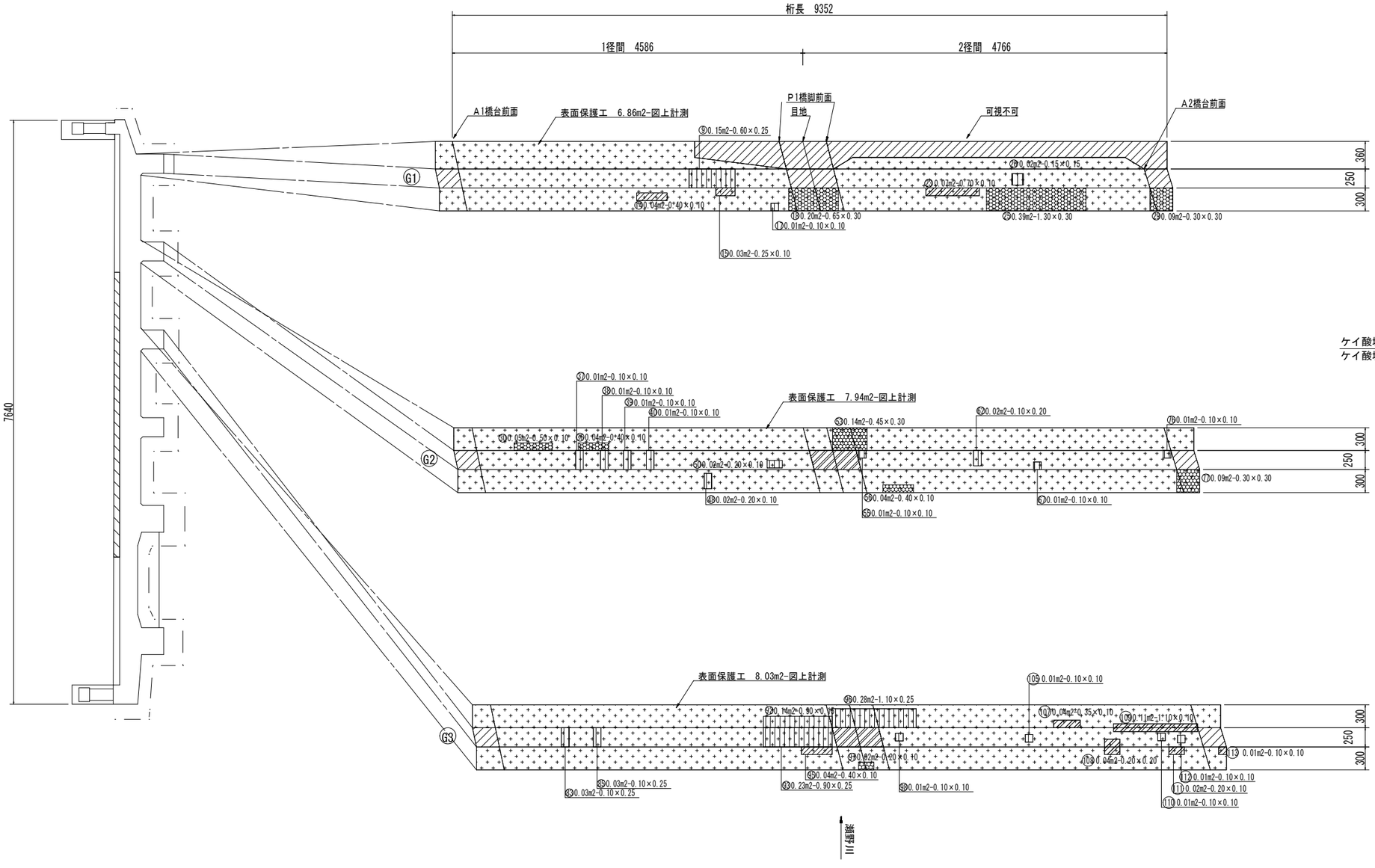
損　傷	記　号	補修対策工法
うき・剥離 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工
鉄筋露出 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工
変形・欠損 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工
コンクリート表面劣化部		表面保護工
コンクリート表面漏水部		水切設置工

注記）施工に当っては現地計測の上　施工数量を決定の事。

工事名	僧原上橋橋梁補修工事		
図面名	床版下面・側面・地覆補修図		
縮　尺	図　示	図面番号	2/16
工事箇所	東広島市志和町七条椛坂		
事業者名	東　広　島　市		

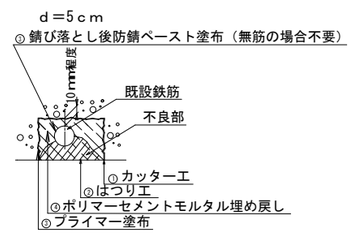
僧原上橋　主桁補修図(G1～G3)　S=1:30

主桁展開図

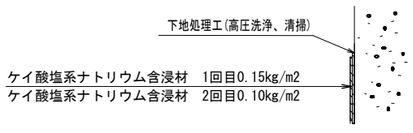


A1側　断面図

断面修復工
（左官工法）



表面保護工



表面保護工数量表

部　位	計算式	面積m2
主桁　G1	図上計測	6.86
主桁　G2	〃	7.94
主桁　G3	〃	8.03
合　計		22.83

補修工法凡例

損　傷	記　号	補修対策工法
うき・剥離 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工
鉄筋露出 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工
変形・欠損 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工
豆板 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工
コンクリート表面劣化部		表面保護工

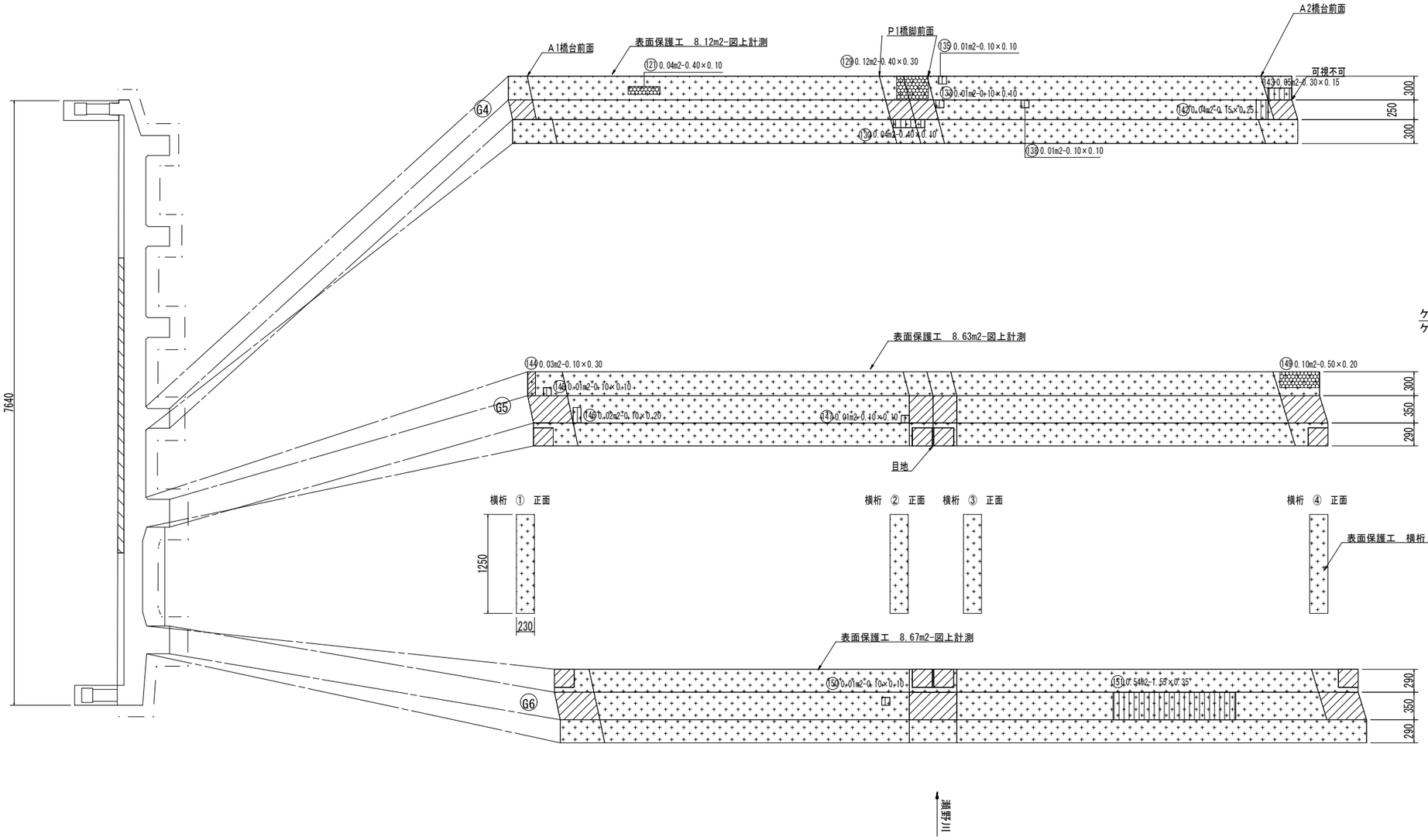
注記）施工に当っては現地計測の上　施工数量を決定の事。

工事名	僧原上橋橋梁補修工事		
図面名	主桁補修図（G1～G3）		
縮　尺	図　示	図面番号	3/16
工事箇所	東広島市志和町七条椛坂		
事業者名	東　広　島　市		

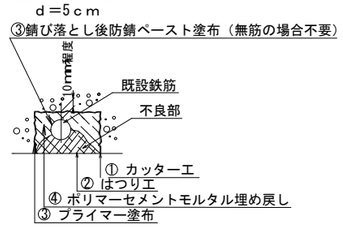
僧原上橋　主桁・横桁補修図(G4～G6)

S=1:30

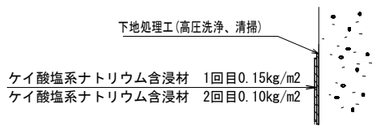
主桁展開図



断面修復工
（ 左官工法）



表面保護工



補修工法凡例

損　傷	記　号	補修対策工法
うき・剥離 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工
鉄筋露出 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工
豆板 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工
コンクリート表面劣化部		表面保護工

表面保護工数量表

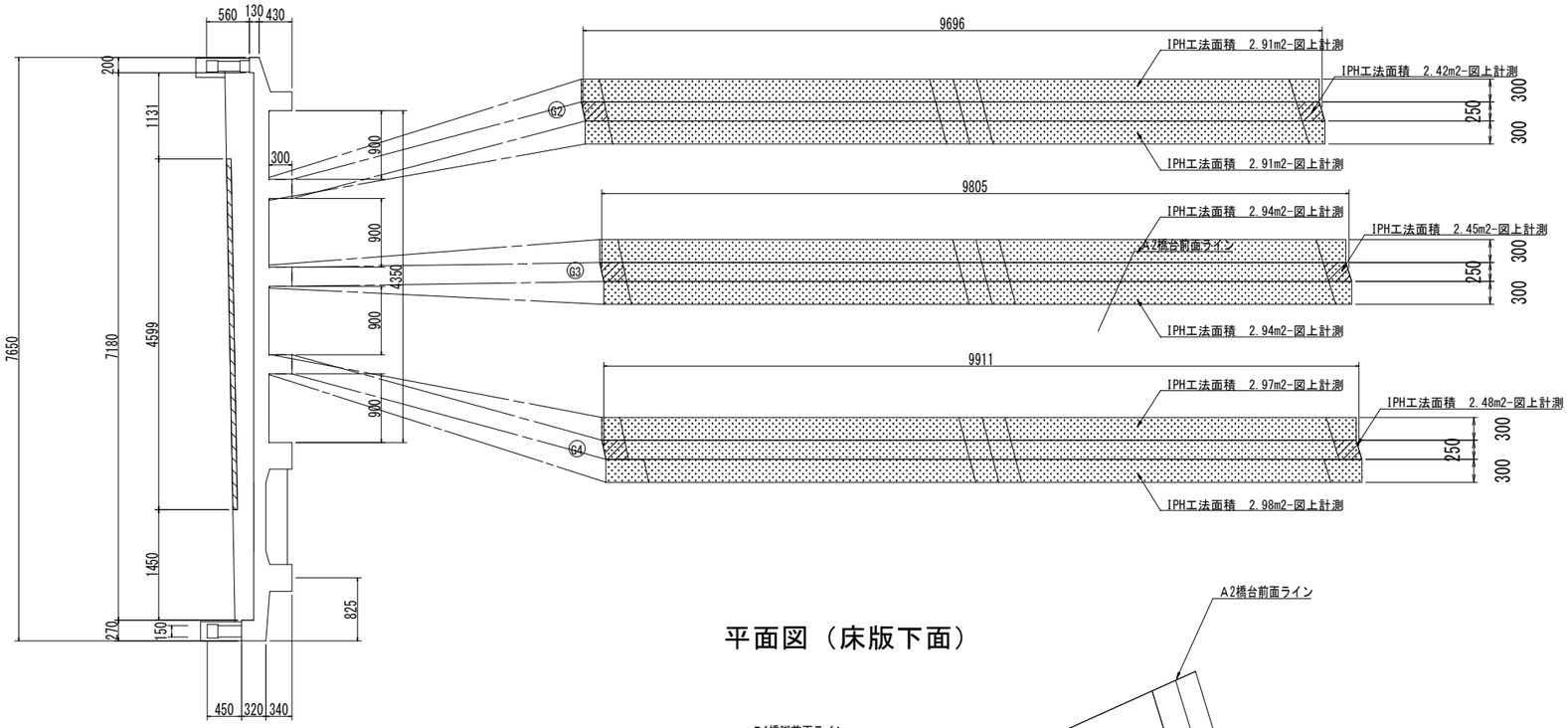
部　位	計算式	面積m2
主桁　G4	図上計測	8.12
主桁　G5	〃	8.63
主桁　G6	〃	8.67
横　桁	〃	1.15
合　計		26.57

注記）施工に当っては現地計測の上　施工数量を決定の事。

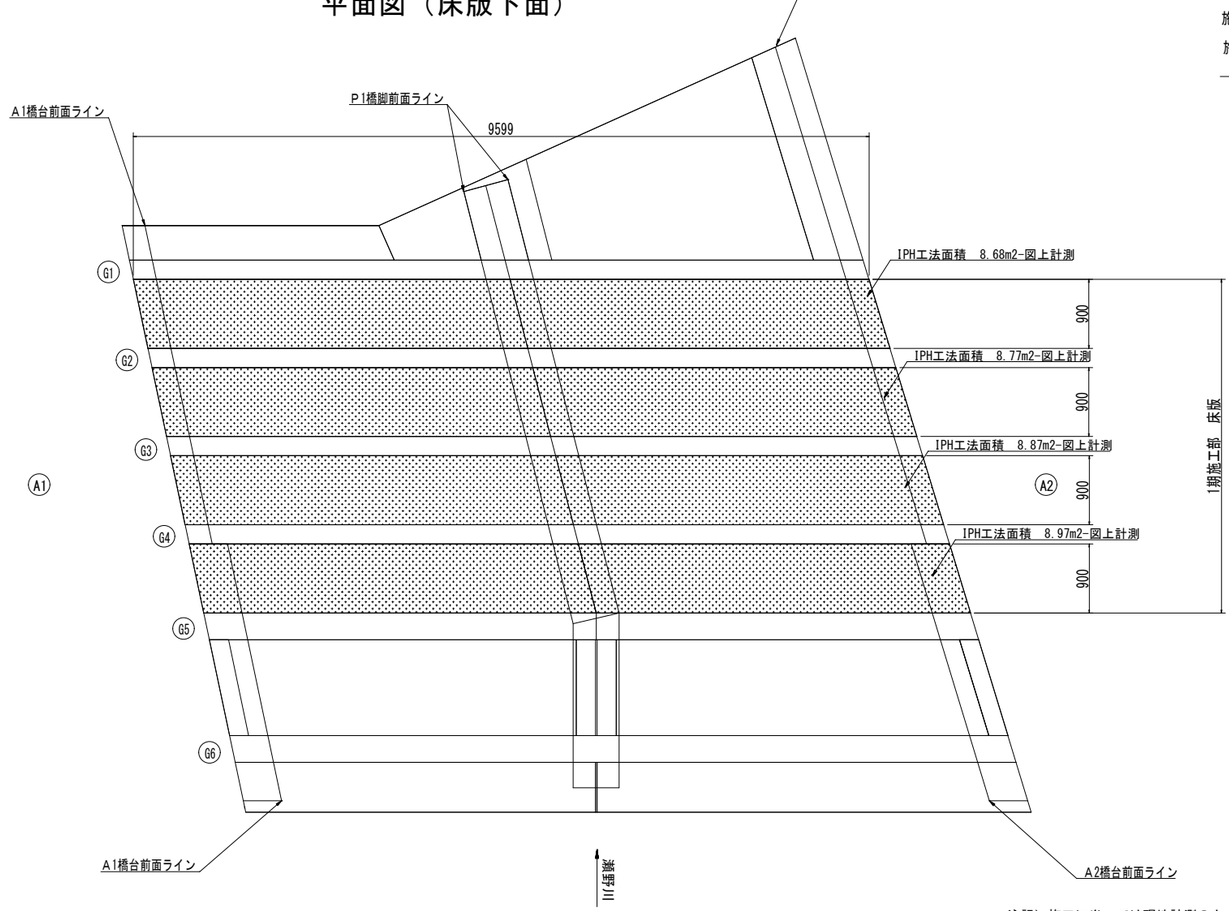
工事名	僧原上橋橋梁補修工事		
図面名	主桁・横桁補修図(G4～G6)		
縮　尺	図　示	図面番号	4/16
工事箇所	東広島市志和町七条椛坂		
事業者名	東　広　島　市		

僧原上橋　床版下面　内圧充填接合補強図　S=1:40

A1側　側面図

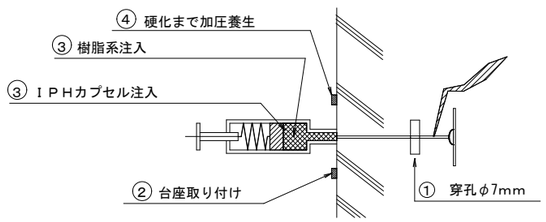


平面図（床版下面）



施工面積(床版下面)	35.29m2		
施工面積(主桁下面)	7.35m2	施工面積(主桁側面)	17.65m2
施工面積	42.64m2	施工面積	17.65m2

IPH工法
（内圧充填接合補強）



1期施工部床版の圧縮強度試験の結果　圧縮強度不足が確認された為

強度回復を目的とした。ＩＰＨ工法による。内圧充填接合補強を行う

施工後は強度がどれだけ回復したかを確認するため、圧縮強度試験を実施する。

補修工法凡例

1期施工部　床版	記　号	補修対策工法
ＩＰＨ工法施工範囲（上向き）		ＩＰＨ工法
ＩＰＨ工法施工範囲（横向き）		ＩＰＨ工法

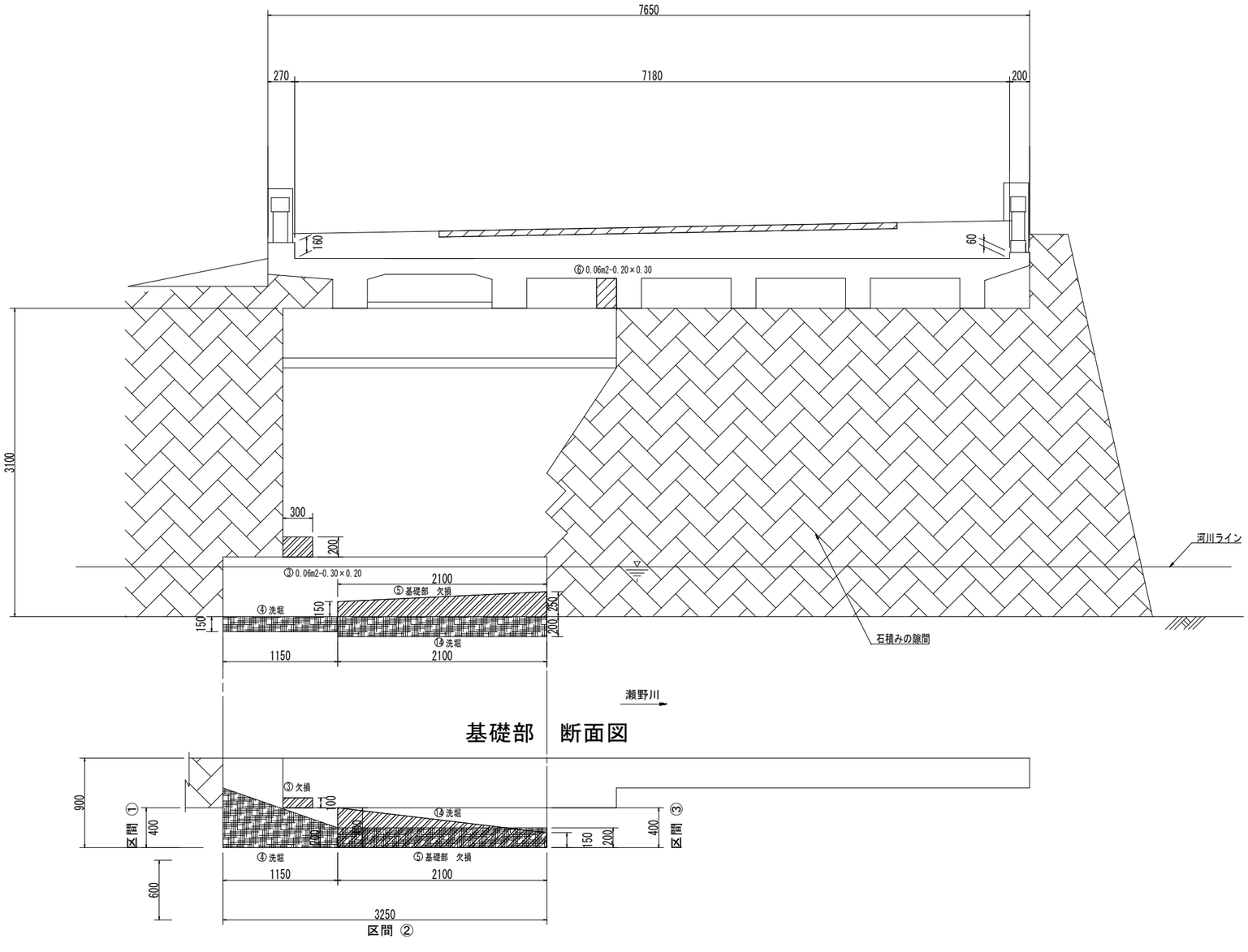
注記）施工に当っては現地計測の上　施工数量を決定の事。

工事名	僧原上橋橋梁補修工事
図面名	床版下面　内圧充填接合補強図
縮　尺	図　示
図面番号	5/16
工事箇所	東広島市志和町七条椛坂
事業者名	東　広　島　市

僧原上橋　A1橋台・端横桁　補修図

S=1:25

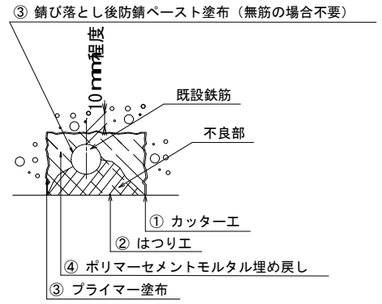
A1橋台　正面図



基礎部　断面図

断面修復工（ 左官工法）

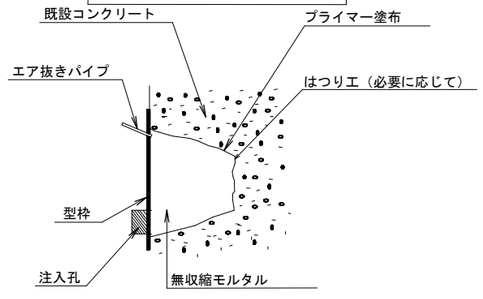
d＝5ｃｍ



注記）断面修復工（左官工法）によるはつり深さ(d)は5cmを標準とするが、
下記箇所は別途想定している。

損傷内容	損傷番号	単 位	算　式	数　量	備　考
欠損	③	m3	0.300×0.200×0.100	0.006	

コンクリート　注入工法（ 型枠注入工法）



型枠数量表（A1橋台）

区　間	単 位	算　式	数　量
①	m2	0.40×0.45	0.18
②	m2	3.25×0.45	1.46
③	m2	0.40×0.45	0.18
合　計			1.82

無収縮モルタル　注入　数量表（A1橋台洗掘）

損傷内容	損傷番号	単 位	算　式	数　量	備　考
欠損（基礎）	⑤	m3	2.1×0.200×0.275	0.12	
洗堀	④	m3	1.15×0.150×0.400	0.07	
洗堀	⑭	m3	2.1×0.200×0.200	0.08	
コンクリート				合計　0.27m3	

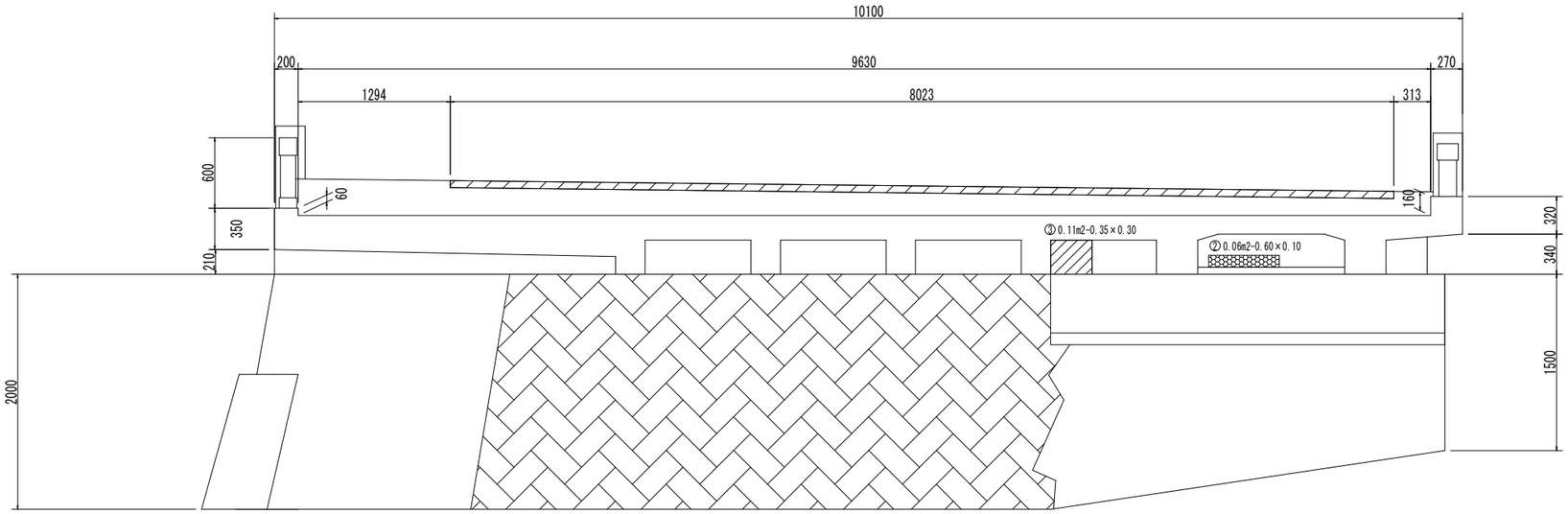
補修工法凡例

損　傷	記　号	補修対策工法
うき・剥離 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工
変形・欠損 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工・コンクリート充填工
浸食・洗掘 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	コンクリート充填工
すり減り 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	コンクリート充填工

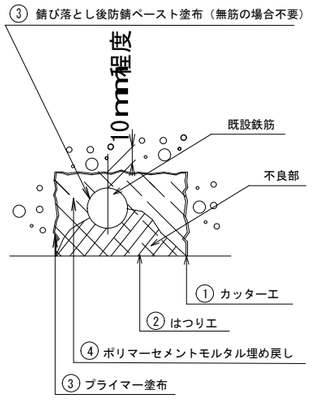
注記）施工に当っては現地計測の上　施工数量を決定の事。

工事名	僧原上橋橋梁補修工事		
図面名	A1橋台・端横桁　補修図		
縮　尺	図　示	図面番号	6/16
工事箇所	東広島市志和町七条祇坂		
事業者名	東　広　島　市		

僧原上橋　Ａ2橋台・端横桁補修図　S=1:25



断面修復工
（ 左官工法）
ｄ＝5ｃｍ



補修工法凡例

損　傷	記　号	補修対策工法
うき・剥離 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.09m2-0.40×0.20	断面修復工
豆　板 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.09m2-0.40×0.20	断面修復工

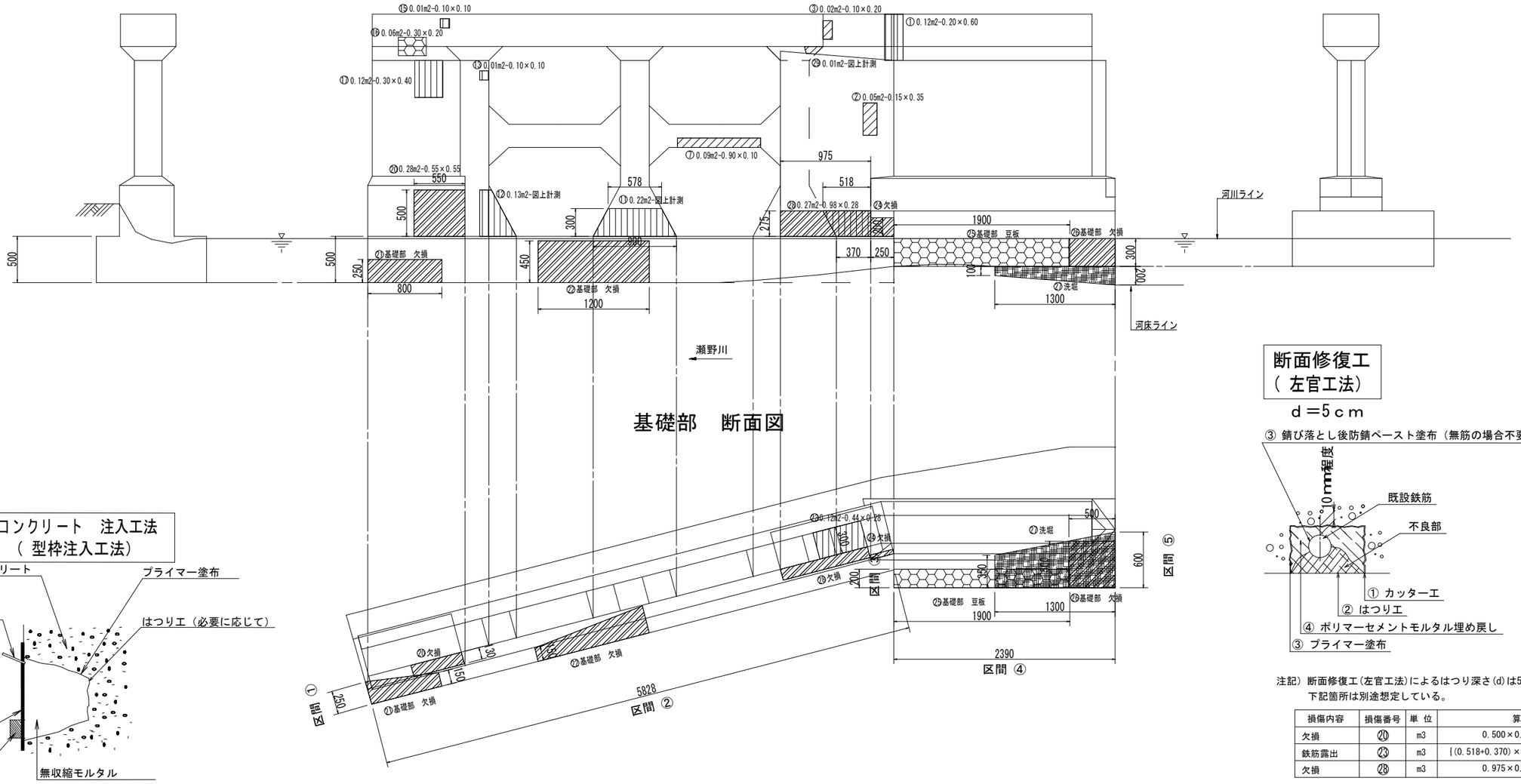
工事名	僧原上橋橋梁補修工事		
図面名	Ａ2橋台・端横桁　補修図		
縮　尺	図　示	図面番号	7/16
工事箇所	東広島市志和町七条袮坂		
事業者名	東　広　島　市		

僧原上橋　橋脚（Ａ1側）・基礎部補修図　　S=1:25

橋脚下流側　側面図

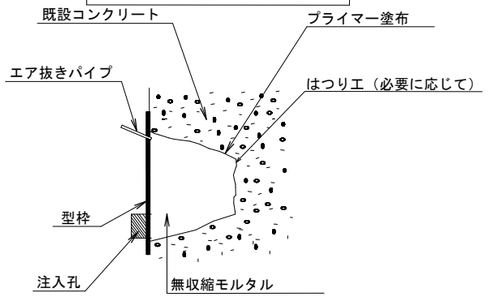
橋脚Ａ1側　側面図

橋脚上流側　側面図



基礎部　断面図

コンクリート　注入工法
（ 型枠注入工法）



断面修復工
（ 左官工法）
ｄ＝5ｃｍ

③ 錆び落とし後防錆ペースト塗布（無筋の場合不要）

注記）断面修復工(左官工法)によるはつり深さ(d)は5cmを標準とするが、
下記箇所は別途想定している。

損傷内容	損傷番号	単 位	算　式	数　量
欠損	⑳	m3	0.500×0.550×0.130	0.04
鉄筋露出	㉓	m3	{(0.518+0.370)×1/2}×0.275×0.300	0.04
欠損	㉖	m3	0.975×0.275×0.200	0.05

補修工法凡例

損　傷	記　号	補修対策工法
うき・剥離 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工
鉄筋露出 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工
変形・欠損 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工・コンクリート充填工
豆　板 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工・コンクリート充填工
浸食・洗掘 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	コンクリート充填工

型枠数量表（Ｐ1橋脚基礎部）

区　間	単 位	算　式	数　量
①	m2	0.25×0.50	0.13
②	m2	5.83×0.50	2.92
③	m2	0.20×0.50	0.10
④	m2	2.39×0.50	1.20
⑤	m2	0.60×0.50	0.30
合　計			4.65

無収縮モルタル　注入　数量表（橋脚A1側）

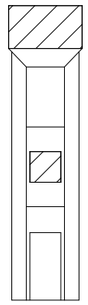
損傷内容	損傷番号	単 位	算　式	数　量	備　考
欠損（基礎）	㉑	m3	0.800×0.250×0.200	0.04	
欠損（基礎）	㉒	m3	1.200×0.450×0.225	0.12	
豆板	㉕	m3	1.900×0.300×0.200	0.11	
欠損	㉖	m3	0.500×0.300×0.500	0.08	
洗掘	㉗	m3	1.300×0.150×0.475	0.09	
コンクリート			合計	0.44m3	

注記）施工に当っては現地計測の上　施工数量を決定の事。
橋脚基礎部については形状の消失している為、型枠の設置位置によって、施工数量が変わる。
型枠設置後、フーチング上部は現場の状況で左官作業等で形状の復旧を行うのが望ましい

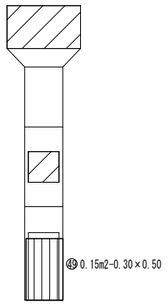
工事名	僧原上橋橋梁補修工事			
図面名	橋脚（Ａ1側）・基礎部補修図			
縮　尺	図　示	図面番号	8/16	
工事箇所	東広島市志和町七条椛坂			
事業者名	東　広　島　市			

僧原上橋　橋脚（Ａ2側）・柱部補修図　　S=1:25

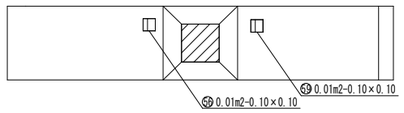
④　柱　側面図



③　柱　側面図



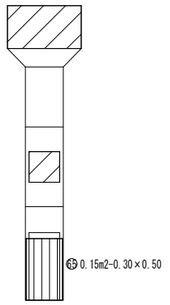
梁部下面図



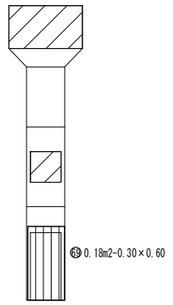
⑥　柱下面図

⑤　柱下面図

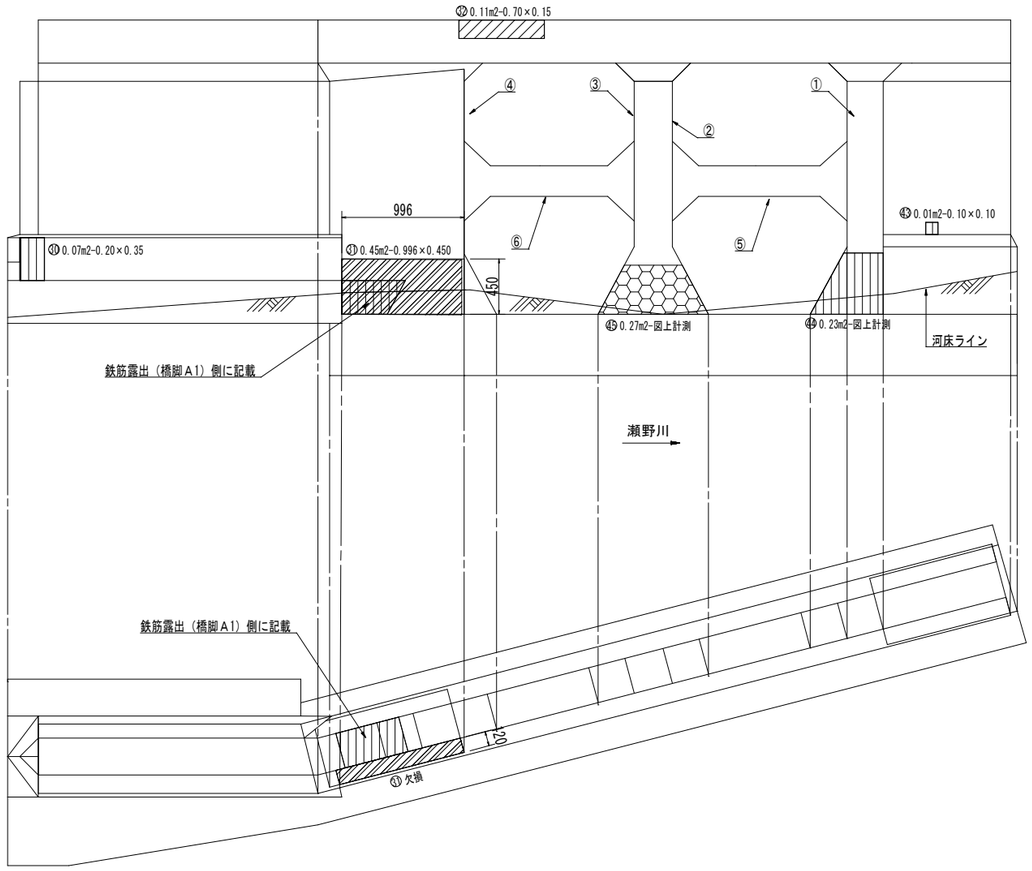
②　柱　側面図



①　柱　側面図



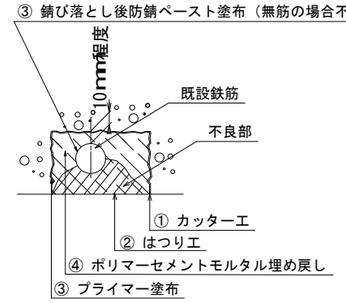
橋脚Ａ2側　正面図



断面修復工
（左官工法）

ｄ＝5ｃｍ

③ 錆び落とし後防錆ペースト塗布（無筋の場合不要）



注記）断面修復工（左官工法）によるはつり深さ(d)は5cmを標準とするが、
下記箇所は別途想定している。

損傷内容	損傷番号	単 位	算　式	数　量
欠損	㉛	m3	0.996×0.450×0.120	0.05

補修工法凡例

損　傷	記　号	補修対策工法
うき・剥離 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工
鉄筋露出 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工
変形・欠損 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工
亘　板 図中の数値は面積(m2)と幅×高さ(m)を示す。	0.08m2-0.40×0.20	断面修復工

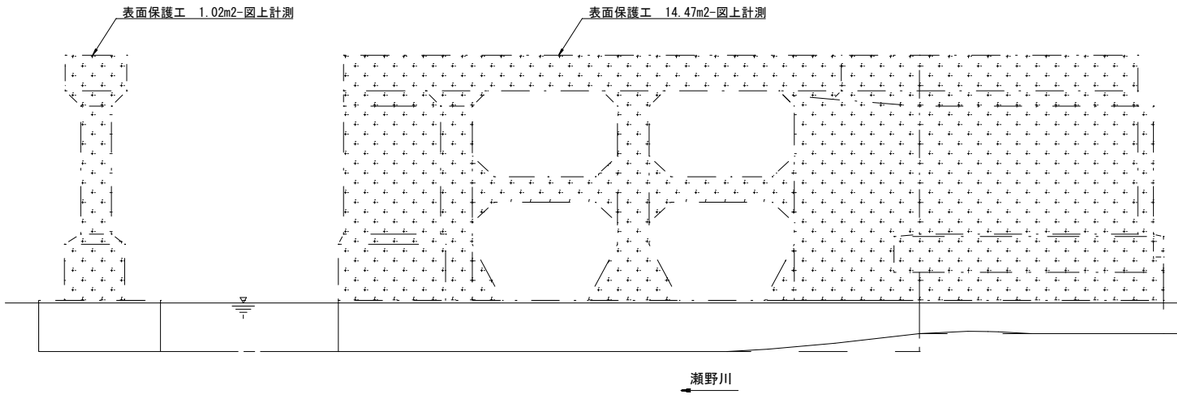
注記）施工に当っては現地計測の上　施工数量を決定の事。

工事名	僧原上橋橋梁補修工事		
図面名	橋脚（Ａ2側）・柱部補修図		
縮　尺	図　示	図面番号	9/16
工事箇所	東広島市志和町七条椛坂		
事業者名	東　広　島　市		

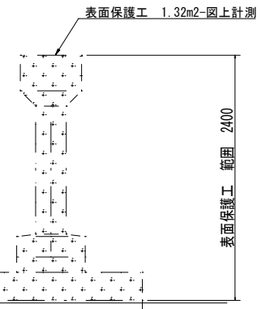
僧原上橋　橋脚・表面保護施工図　S=1:30

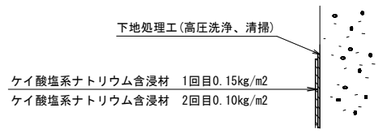
橋脚下流側　側面図

橋脚Ａ1側 正面図

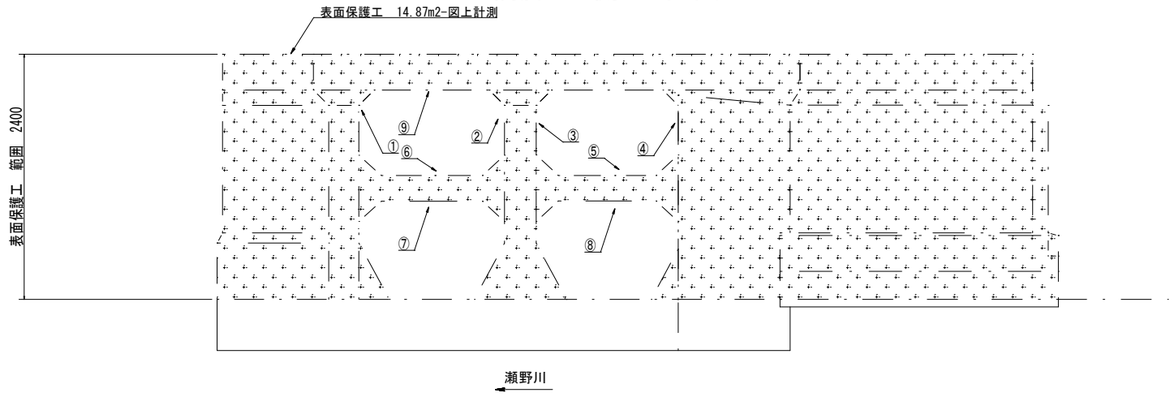


橋脚上流側　側面図





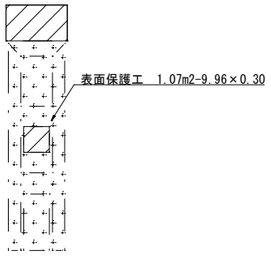
橋脚Ａ2側 正面図



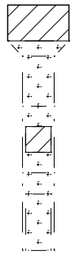
表面保護工施　範囲（Ｐ1橋脚）

箇所	単 位	算　式	数　量
Ａ1側　正面図	m2	図上計測	14.47
Ａ2側　正面図	m2	図上計測	14.87
上流側　側面図	m2	図上計測	1.32
下流側　側面図	m2	図上計測	1.02
①　柱　側面図	m2	図上計測	0.59
②　柱　側面図	m2	図上計測	0.59
③　柱　側面図	m2	図上計測	0.59
④　柱　側面図	m2	図上計測	1.07
⑤　柱　下面図	m2	1.42×0.25	0.36
⑥　柱　下面図	m2	1.42×0.25	0.36
⑦　柱　下面図	m2	1.42×0.25	0.36
⑧　柱　下面図	m2	1.42×0.25	0.36
⑨　梁部　下面図	m2	図上計測	1.80
合　計			37.76

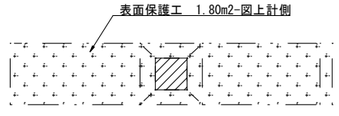
④　柱　側面図



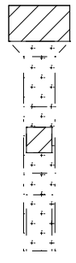
③　柱　側面図



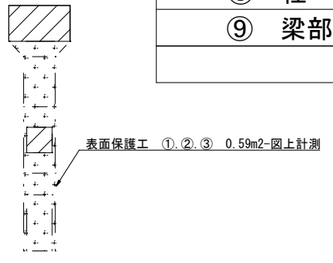
⑨　梁部下面図



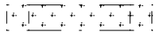
②　柱　側面図



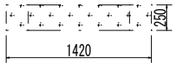
①　柱　側面図



⑥　柱上面図



⑤　柱上面図



⑦　柱下面図

⑧　柱下面図

補修工法凡例

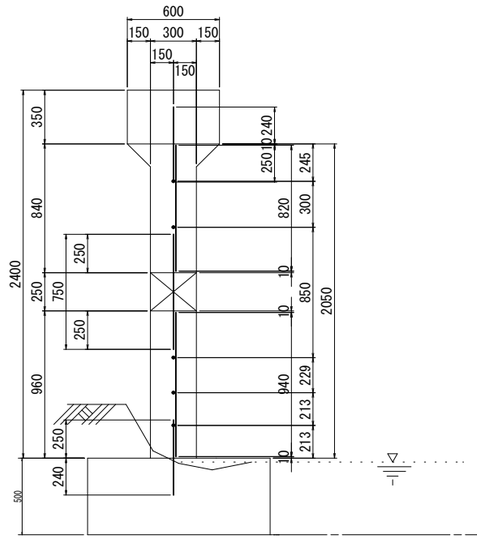
損　傷	記　号	補修対策工法
コンクリート表面劣化部		表面保護工

注記）施工に当っては現地計測の上　施工数量を決定の事。

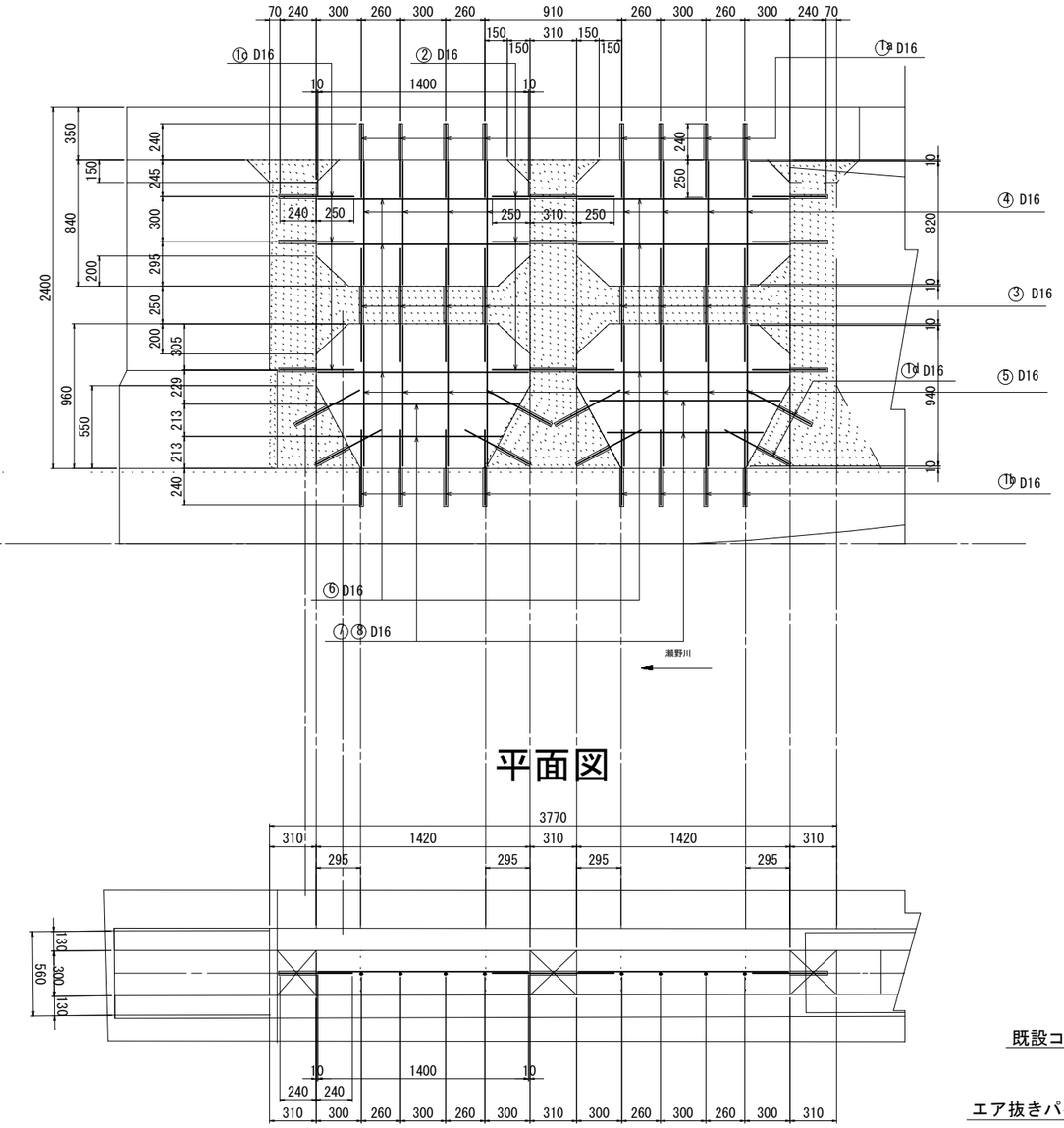
工事名	僧原上橋橋梁補修工事
図面名	橋脚・表面保護施工図
縮　尺	図　示　　図面番号　10/16
工事箇所	東広島市志和町七条椛坂
事業者名	東　広　島　市

橋脚補強（柱間隔壁設置）　配筋図　S=1：20

断面図

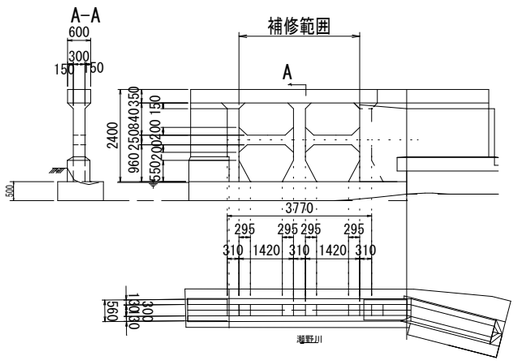


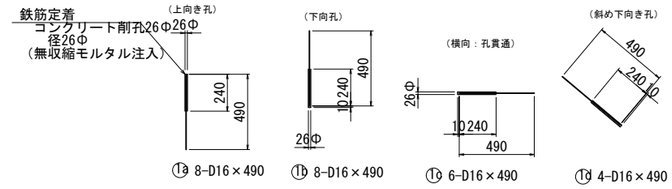
正面図

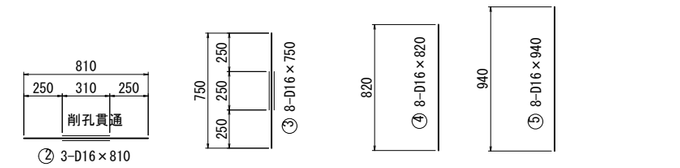


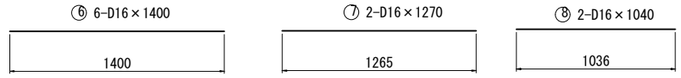
平面図

配置図 S=1：80









鉄筋材料表

（材質　SD345）

符号	径	本数	長さ	単位当り質量	1本質量	質量	摘　要
①a～①d	D16	26	490	1.56	0.764	20		
②	D16	3	810	1.56	1.26	4		
③	D16	8	750	1.56	1.17	9		
④	D13	8	820	1.56	1.28	10		
⑤	D13	8	940	1.56	1.47	12		
⑥	D13	6	1400	1.56	2.14	13	――	
⑦	D13	2	1270	1.56	1.968	4	――	
⑧	D13	2	1040	1.56	1.62	3	――	
					Σ	75	ｋｇ

表面処理面積　A　＝　6.133m2

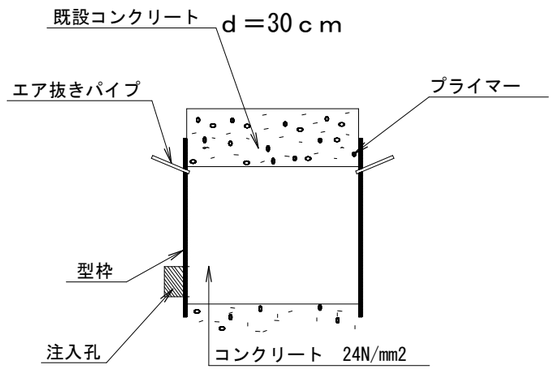
コンクリート体積　V　＝ 2.142m3　σck＝24N/mm2

型枠面積　A＝　14.280m2

コンクリート削孔　26Φ×240　8本、26×250　26本,26Φ×310　3本

無収縮モルタル注入体積　V=12,481,799　mm3

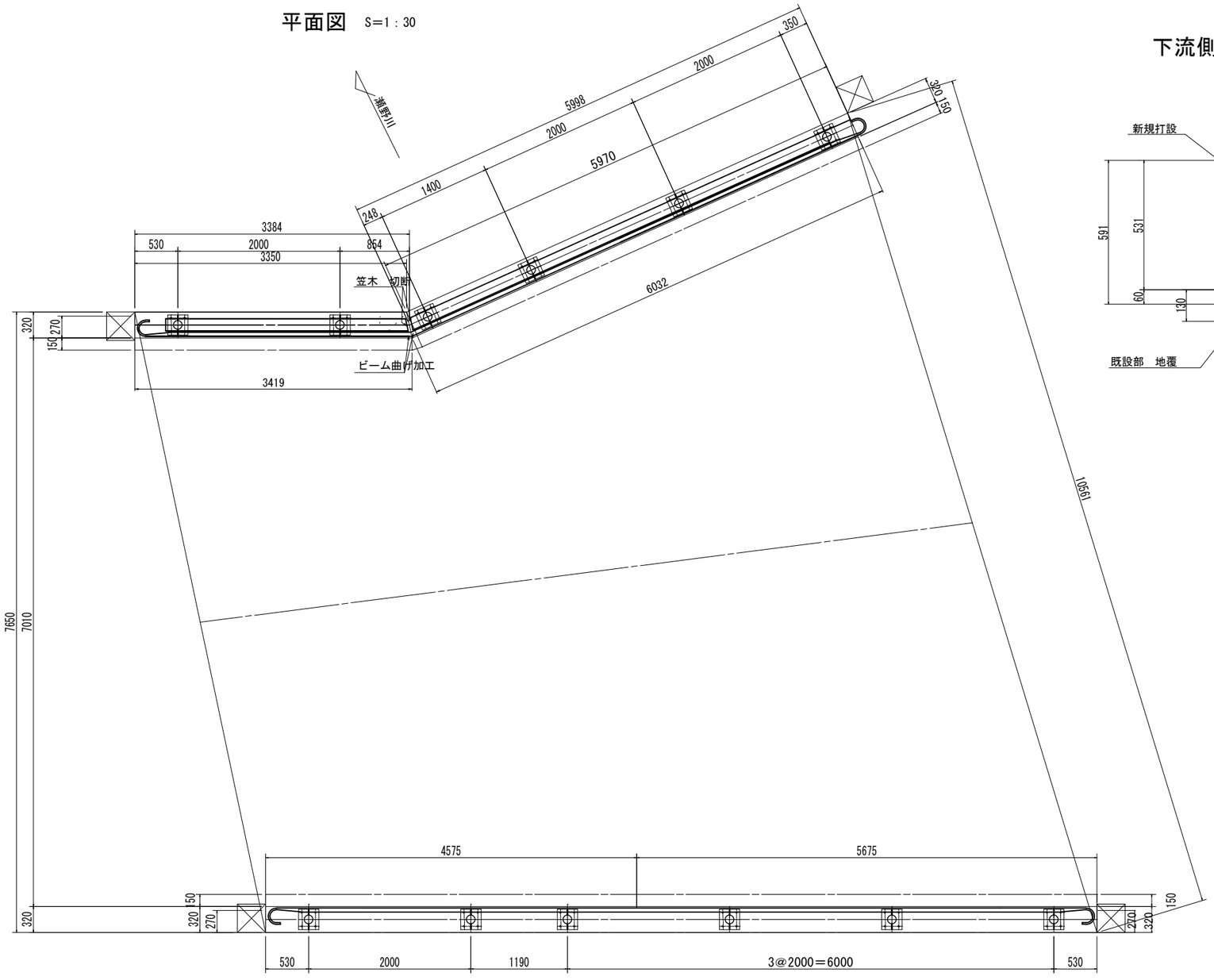
コンクリート　注入工法
（ 型枠注入工法）



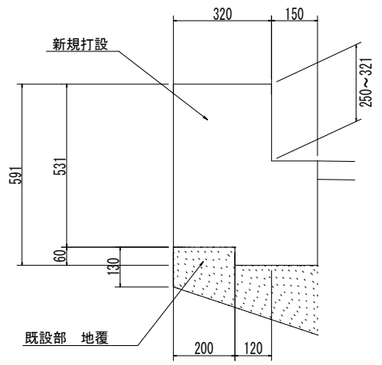
工事名	僧原上橋橋梁補修工事
図面名	橋脚補強（柱間隔壁設置）配筋図
縮　尺	図　示　　図面番号　11/16
工事箇所	東広島市志和町七条椛坂
事業者名	東　広　島　市

僧原上橋　地覆形状・高欄割付図　S=1:30

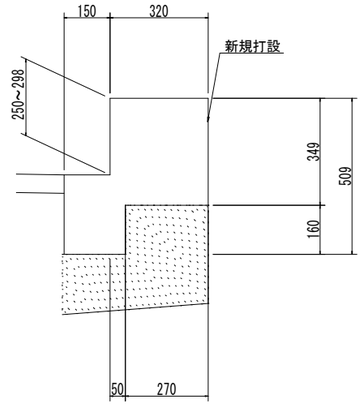
平面図　S=1：30



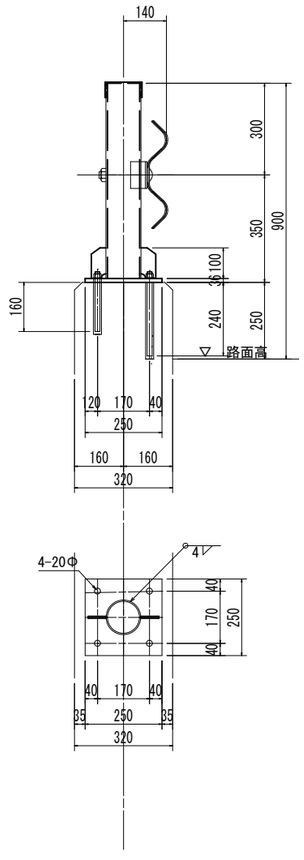
下流側　嵩上げ　断面図　S=1:10



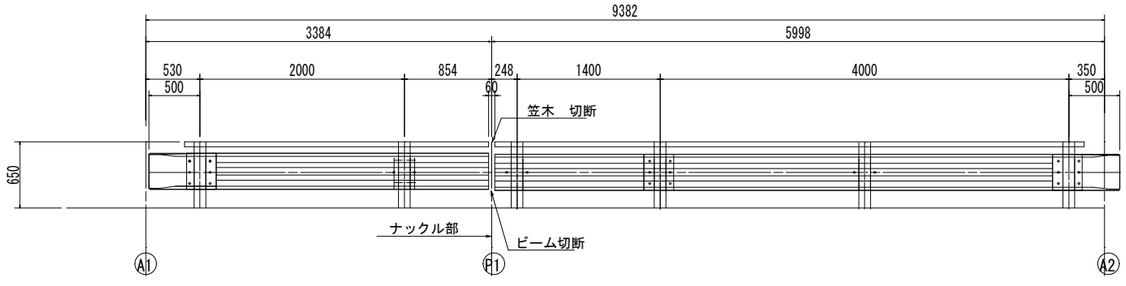
上流側　嵩上げ　断面図　S=1:10



高欄断面図　S=1：10



下流側高欄展開図　S=1：30



支柱1本当り材料
1-Pipe 114.3φ×4.5×838
1－PL　230×12×230（SM400A）
2-Rib　PL　48×6×100（SM400A）
2-Anc.B.N.W　M16×280
2-　〃　　M16×200
アンカーボルト削孔　2-26Φ×250
　　〃　　2-26Φ×170

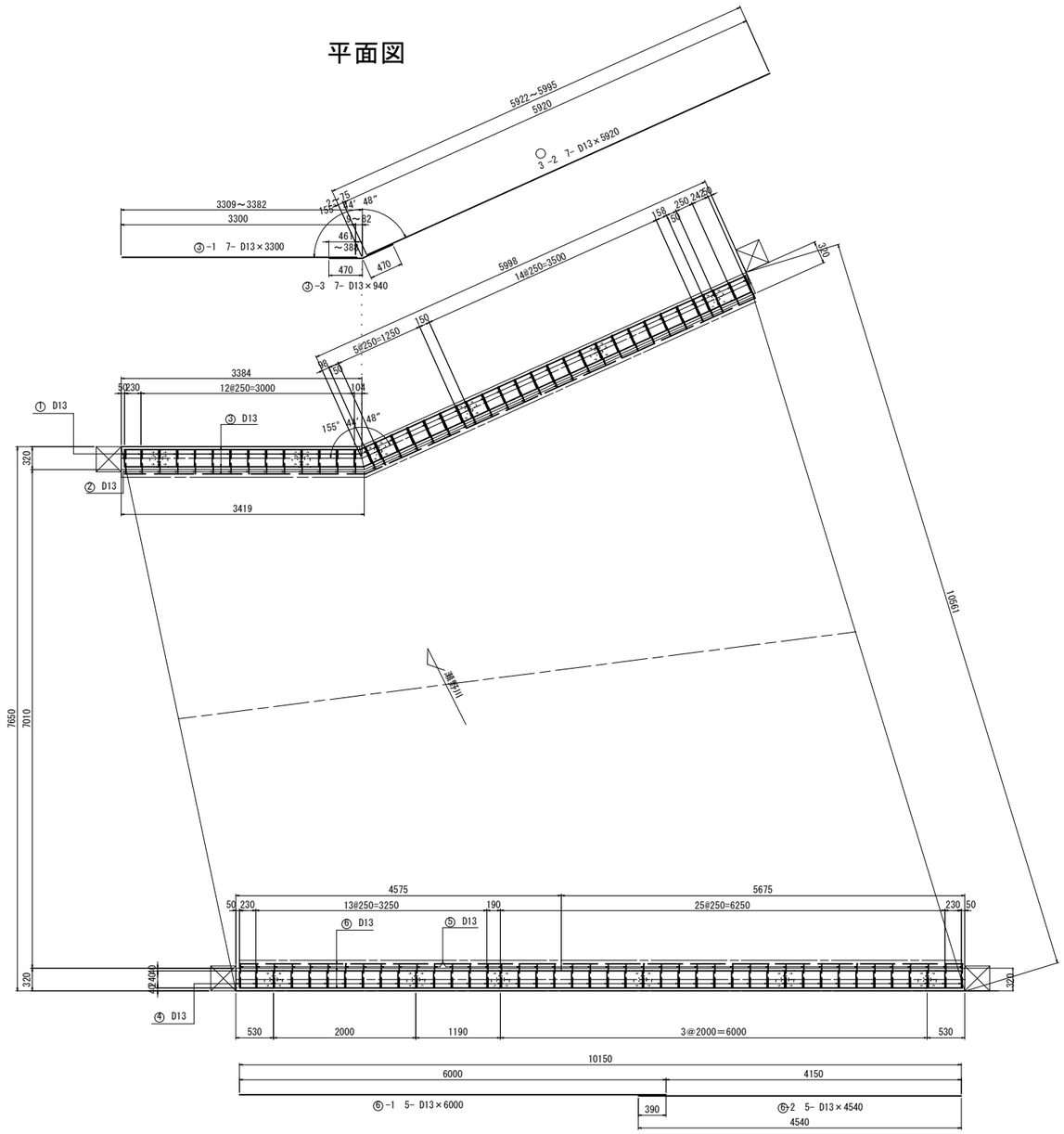
注記）施工に当っては現地計測の上　施工数量を決定の事。

工事名	僧原上橋橋梁補修工事		
図面名	地覆形状・高欄割付図		
縮　尺	図　示	図面番号	12/16
工事箇所	東広島市志和町七条椛坂		
事業者名	東　広　島　市		

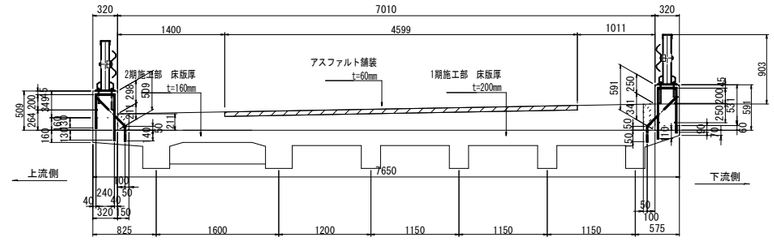
僧原上橋　地覆配筋図

S=1:40

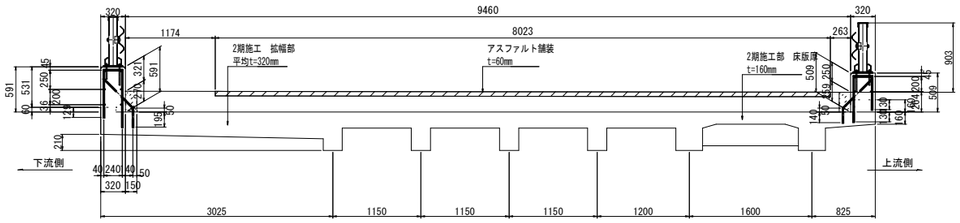
平面図



Ａ1側　断面図



Ａ2側　断面図

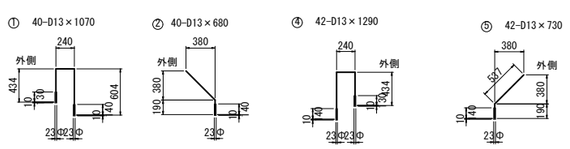


鉄筋材料表

（材質　SD345）

符号	径	本数	長さ	単位当り質量	1本質量	質量	摘　要
①	D13	40	1070	0.995	1.06	42	∏
②	D13	40	680	0.995	0.677	27	＼
③-1	D13	7	3300	0.995	3.28	23	――
③-2	D13	7	5920	0.995	5.89	4	――
③-3	D13	7	940	0.995	0.935	7	――
④	D13	42	1290	0.995	1.28	54	∏
⑤	D13	42	730	0.995	0.726	30	／
⑥-1	D13	5	6000	0.995	5.97	30	――
⑥-2	D13	5	4540	0.995	4.52	23	――
					Σ	240	ｋｇ

その他　数量
コンクリート体積　V　＝　　3.760m3（σck＝24N/mm2）
型枠面積　A＝19.730m2
コンクリート削孔　23Φ×140　82本、23Φ×150　164本
〃（高欄アンカー）　26Φ×170　24本、26Φ×250　24本
表面処理面積　6.85m2
無収縮モルタル注入体積　V＝0.01m3

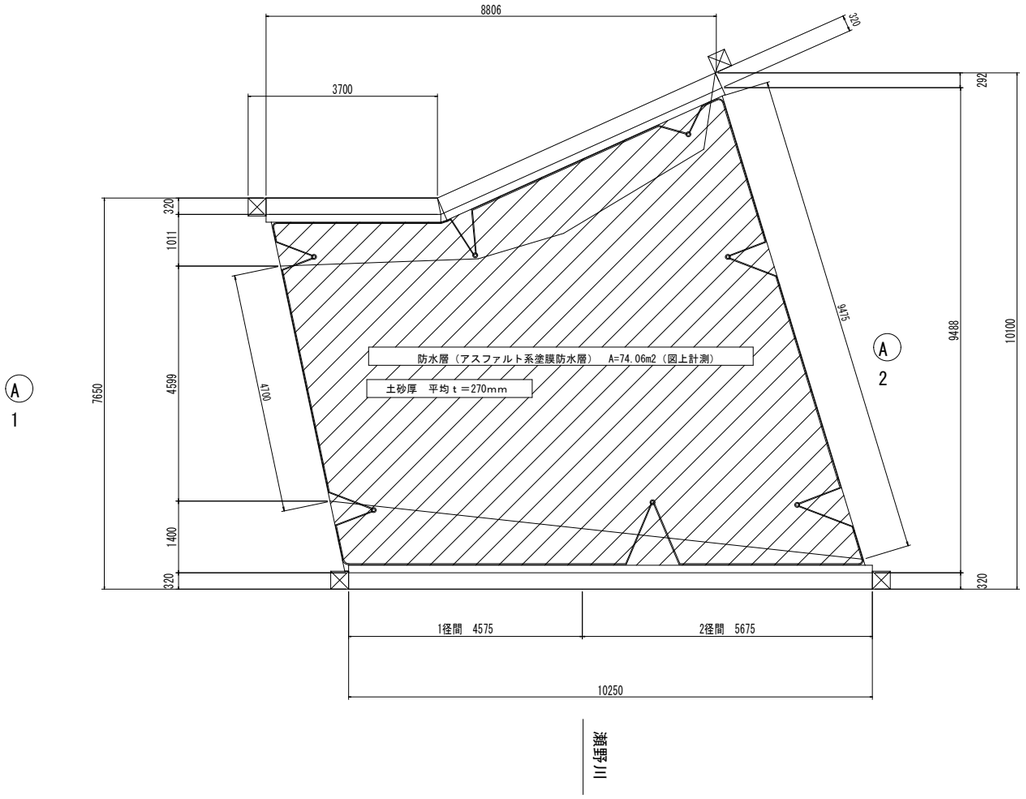


注記）施工に当っては現地計測の上　施工数量を決定の事。

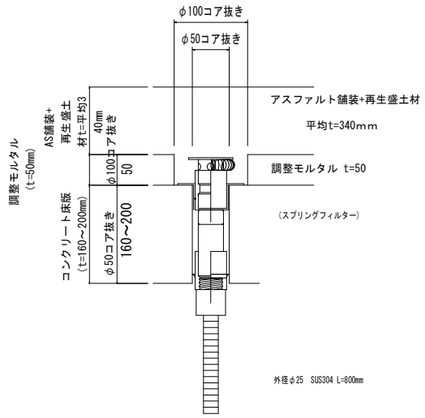
工事名	僧原上橋橋梁補修工事		
図面名	地覆配筋図		
縮　尺	図　示	図面番号	13/17
工事箇所	東広島市志和町七条椛坂		
事業者名	東　広　島　市		

僧原上橋　路面補修図　S=1:60

平面図



スラブドレーン標準断面図
製作数　7組



スラブドレーン 1箇所分数量

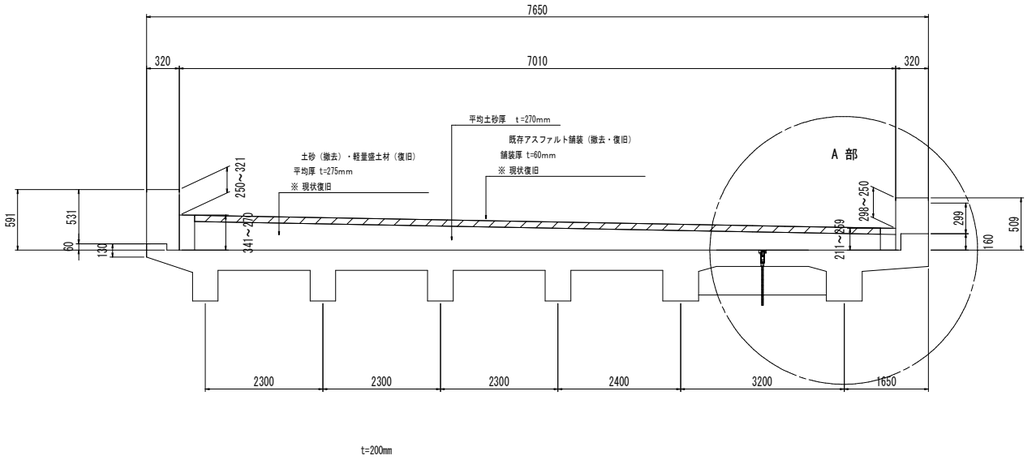
部　材　名		寸　　法	備　　考
本体構成部品	①	φ３４．０	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）キャップ付（φ60×2.3t）
本体構成部品	②	φ４２．７×６０	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
本体構成部品	③	φ３４．０×２０	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
本体構成部品	④	φ４２．７×５０	鋼管（亜鉛メッキ仕上げ）
吊　り　金　具			普通鉄板
ゴムパッキン			
目詰り防止フィルター			スプリングフィルター（ＳＵＳ３０４）
コンクリート削孔		φ100×50	1本
		φ50×210	1本
（橋面用導水管φ18）		＜ＳＵＳタイプ＞	

部　材　名	寸　　法	備　　考
本体構成部品　⑤	４０．０	樹脂製
SUSフレキシブルチューブ	外径φ25(SUS304) L=800mm	ステンレス（ＳＵＳ３０４）

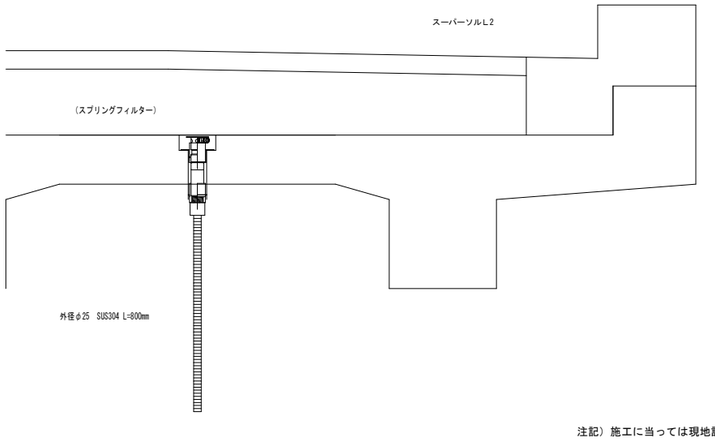
数量表(橋面防水工・舗装打換工)

工　種	規格・仕様	単位	算　式	数　量	備　考
橋面防水工	防水層（塗膜系：アスファルト加熱型）	m2	74.06（図上計側）	74.06	
	排水用導水管（φ18）	m	45	45	
成形目地材	30Ｘ5　ボンドテープ同等品以上	m	全周×3	40	
舗装切断工		m	4.700+9.500	14.2	
舗装復旧工	再生密粒度As（t=6cm）	m2	74.06	74.06	t=60mm
舗装撤去工	As舗装撤去（t=6cm）	m3	58.95（図上計測）×0.06	3.54	t=60mm
	As殻運搬・処分	t	3.54×2.35ｔ/m3	8.32	
土砂撤去工	土砂撤去（平均t=27cm）	m3	74.06（図上計測）×0.27	20.00	t=270mm
	土砂運搬・処分	t	20.00×1.8ｔ/m3	36	
路体盛土工	軽量盛土材（平均t=27cm）	m3	74.06×0.27	20.00	t=270mm

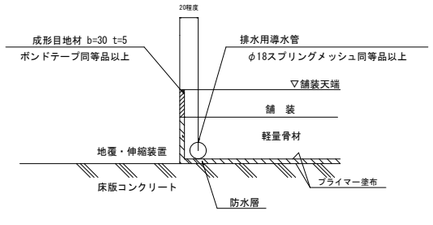
Ａ1側　断面図　S=1:30



A部詳細図　S=1:10



縦・横断排水　端部防水詳細図

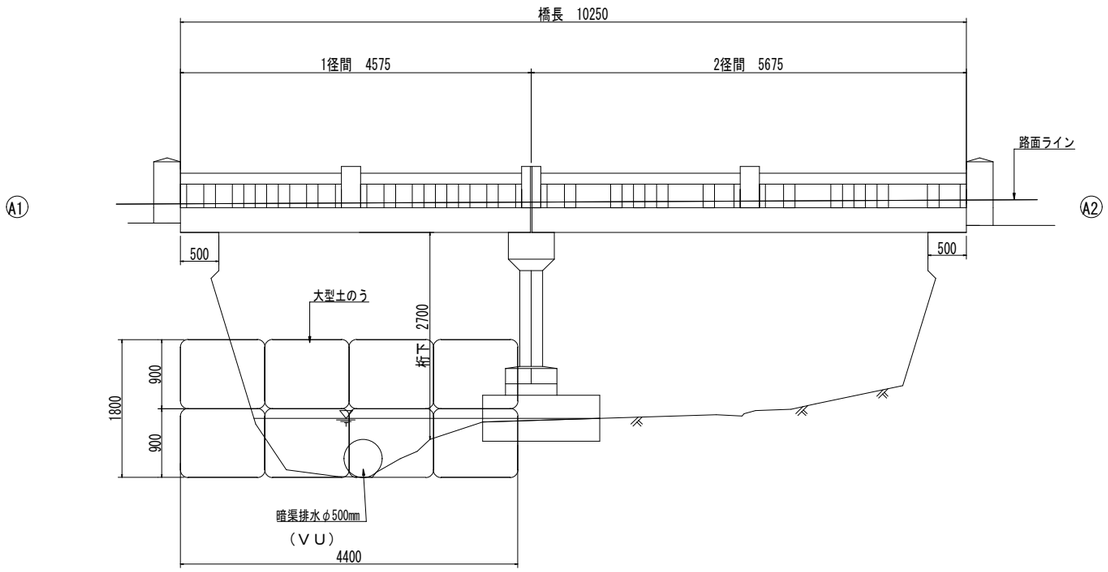


注記）施工に当っては現地計測の上　施工数量を決定の事。

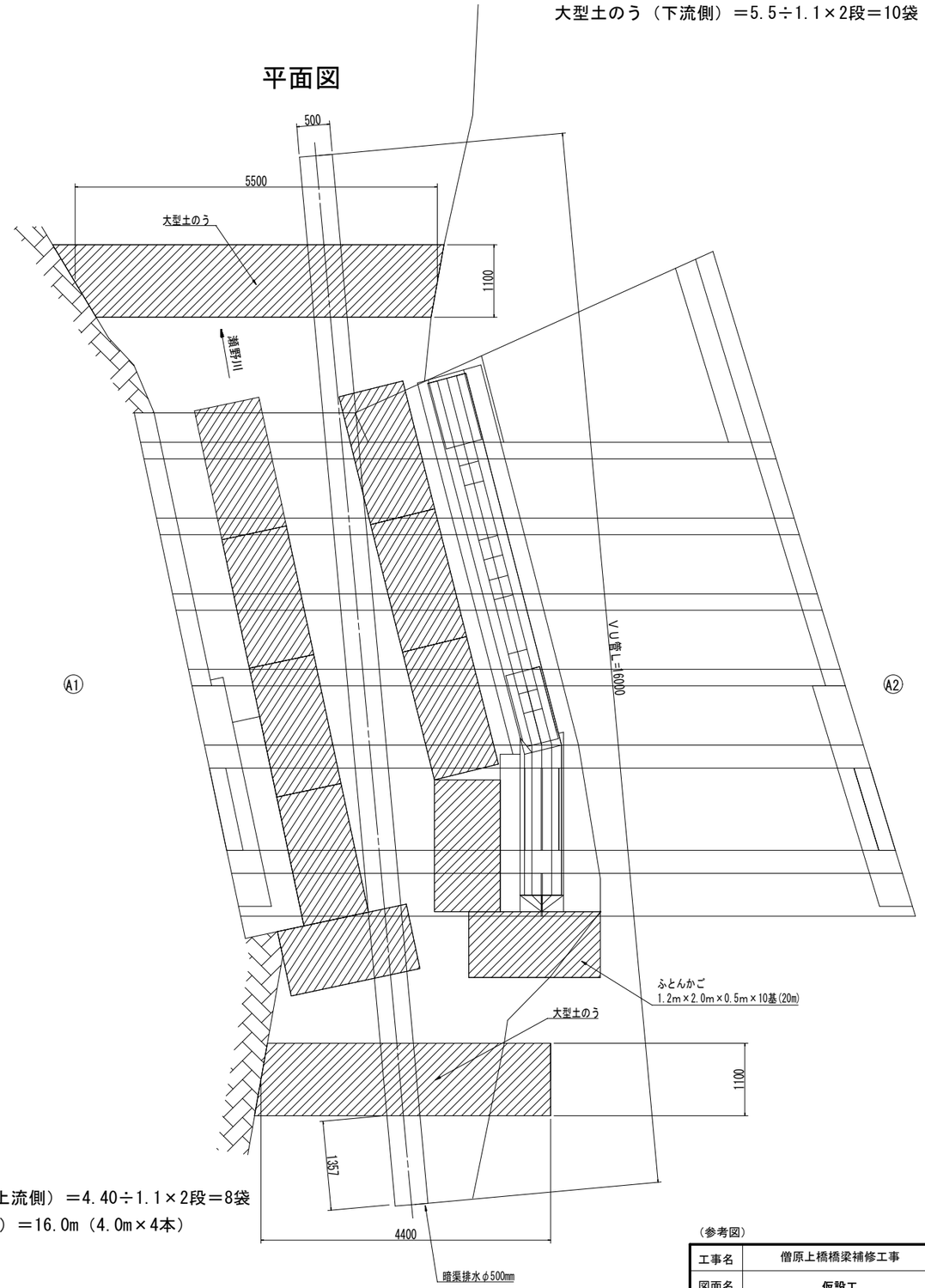
工事名	僧原上橋橋梁補修工事		
図面名	路面補修図		
縮　尺	図　示	図面番号	14/16
工事箇所	東広島市志和町七条椛坂		
事業者名	東　広　島　市		

僧原上橋　土のう築堤工　S=1:40

側面図



平面図



大型土のう（下流側）＝5.5÷1.1×2段＝10袋

大型土のう（上流側）＝4.40÷1.1×2段＝8袋

ＶＵ管（φ500）＝16.0m（4.0m×4本）

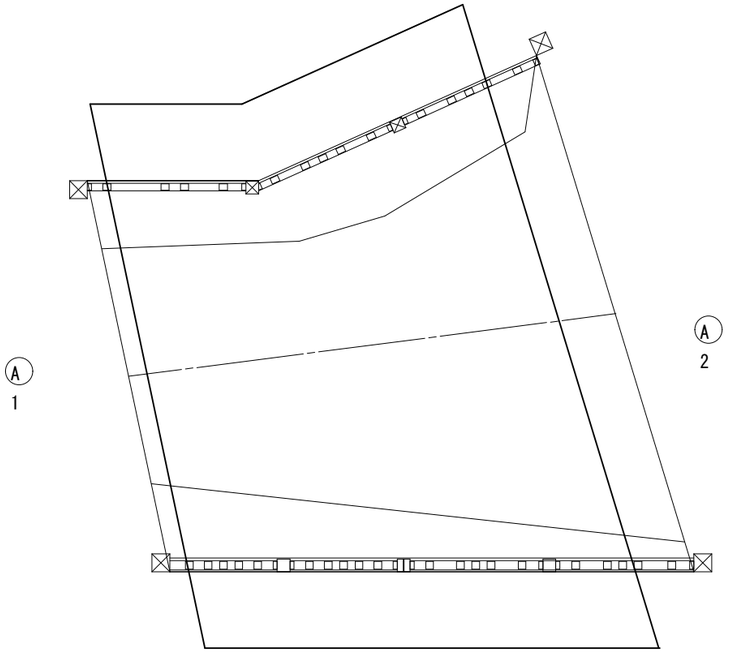
注記）施工に当っては現地計測の上　施工数量を決定の事。

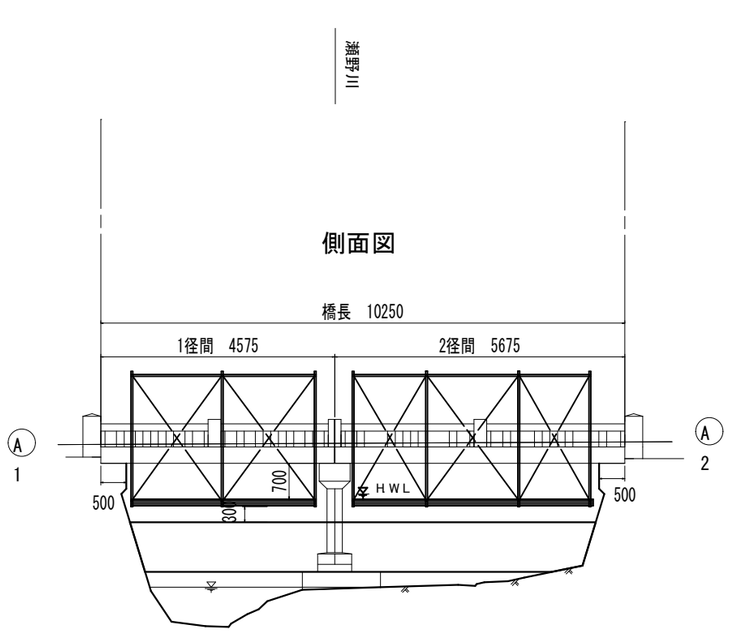
（参考図）

工事名	僧原上橋橋梁補修工事		
図面名	仮設工		
縮　尺	図　示	図面番号	15/16
工事箇所	東広島市志和町七条椛坂		
事業者名	東　広　島　市		

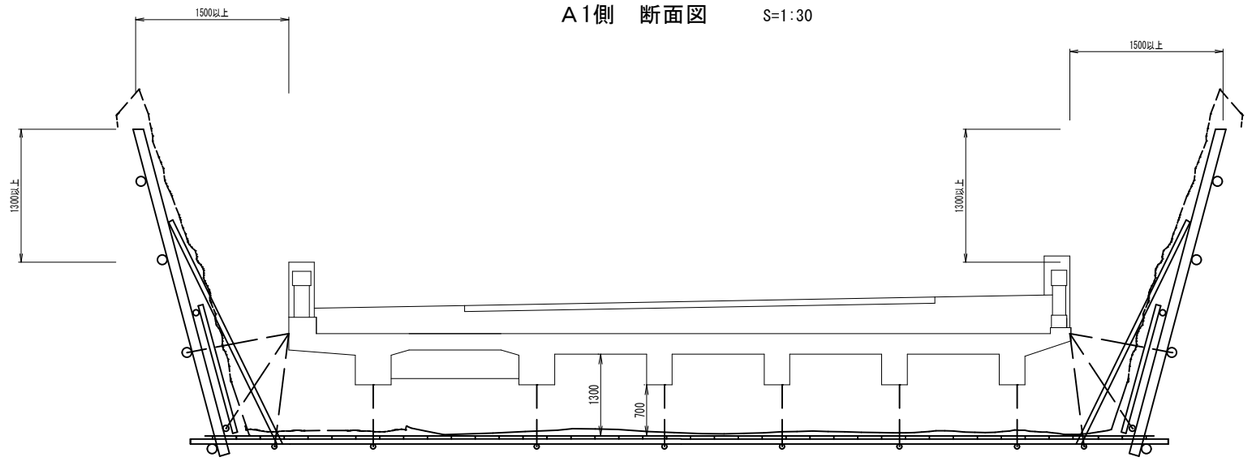
吊足場参考図　　S=1:60

平面図

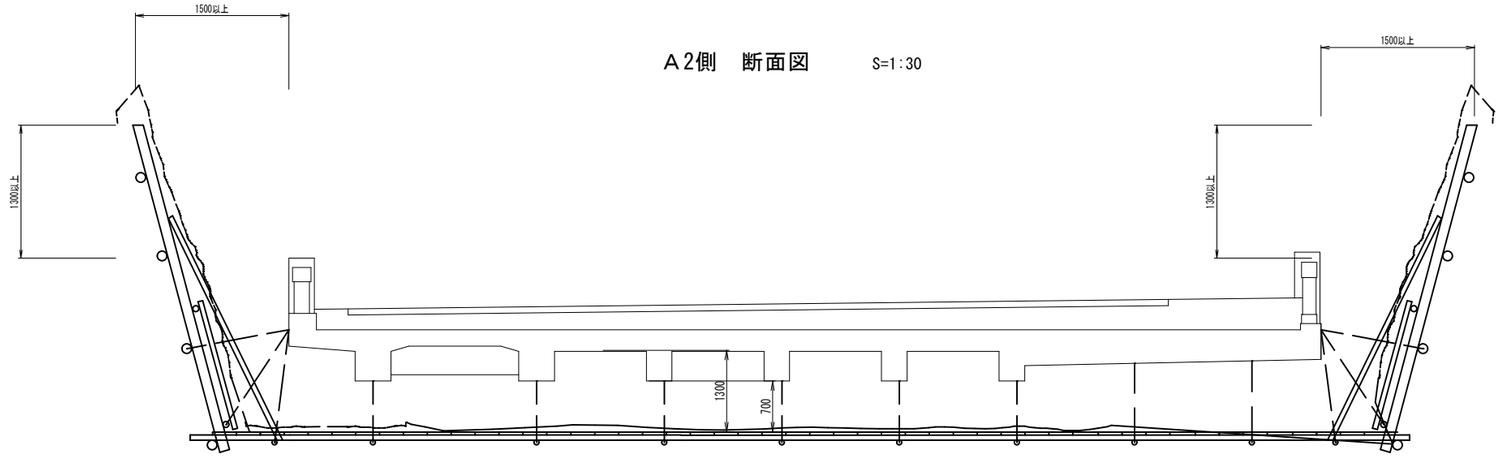




A1側　断面図　　S=1:30



A2側　断面図　　S=1:30



（参考図）

工事名	僧原上橋橋梁補修工事		
図面名	吊足場参考図		
縮　尺	図　示	図面番号	16/16
工事箇所	東広島市志和町七条椛坂		
事業者名	東　広　島　市		

参 考 図 書

工事名称　：　令和 7 年度 橋梁長期保全事業

僧原上橋橋梁補修工事

＜注意事項＞

1　本工事は、数量公開の対象工事です。

2　この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。

数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、契約上の拘束をするものではありません。

3　その他

・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種　別	施設の名称	所在地	運搬距離
建設発生土 （砂質土）	カワモトリサイクルセンター	東広島市志和町内字塚土山 10001	9.4km

・当該工事により発生する Co 殻、As 殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種　別	施設の名称	所在地	運搬距離
Co 殻（無筋）	株式会社スナダ	東広島市志和町七条椛坂 10488-160	4.6km
Co 殻（鉄筋）	株式会社スナダ	東広島市志和町七条椛坂 10488-160	4.6km
As 殻	東亜道路工業株式会社 広島瀬野川アスコン	東広島市志和町冠 11030-4	1.4km

総括情報表

変更回数	0
適用単価地区	44 東広島市
単価適用日	00-07.05.01(0)
諸経費体系	1 公共(一般)

	当世代	前世代
工種	41 橋梁保全工事	
施工地域・工事場所区分	04 一般交通影響有り(2)	
復興補正区分	00 補正なし	
週休補正区分	09 閉所型・月単位	
現場事務所等の貸与区分	00 補正なし	
ＩＣＴ補正区分	00 補正なし	
冬期補正係数	00 補正なし	
緊急工事区分	00 通常工事 ０％	
前払金支出割合区分	00 補正無し	
契約保証区分	01 金銭的保証(0.04%)	

建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。

≪凡例≫

Co ･･･コンクリート　　As ･･･アスファルト
DT ･･･ダンプトラック　　BH ･･･バックホウ
CC ･･･クローラクレーン　TC ･･･トラッククレーン
RTC･･･ラフテレーンクレーン

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事	1	式			Y1G03　　レベル1
道路土工	1	式			Y1G0303　　レベル2
掘削工	1	式			Y1G030301　レベル3
掘削 土砂	20	m3			Y1G03030101レベル4
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準	20	m3			SPK24040001 00 単第0 -0001　表
路体盛土工	1	式			Y1G030303　レベル3
路体(築堤)盛土 軽量盛土材	20	m3			Y1G03030301レベル4
路体(築堤)盛土 施工幅員4.0m以上 施工数量20,000m3未満 障害無し	20	m3			SPK24040004 00 単第0 -0002　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
軽量盛土材 スーパーソルL2	27	m3			F0000000050 00
残土処理工	1	式			Y1G030310　レベル3
土砂等運搬 土砂	20	m3			Y1G03031002レベル4
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) DID区間無し　距離10.0km以下(7.5km超)	20	m3			SPK24040002 00 単第0 -0003　表
残土等処分	20	m3			Y1G03031003レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
残土等処分費	20	m3			F0000000014 00
橋梁補修工	1	式			Y1G0324　　レベル2
橋梁地覆補修工	1	式			Y1G032401　レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 24N	4	m3			Y1G03240103レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB 人力打設	4	m3			SPK24040153 00 単第0 -0004 表
コンクリート削孔 削孔長140～150mm 無収縮モルタル	246	本			Y4999 レベル4
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30mm以上200mm未満	246	孔			SPK24040118 00 単第0 -0005 表
無収縮モルタル	0.01	m3			F0000000030 00
鉄筋 SD345 D13	0.24	t			Y1G03240102レベル4
鉄筋工 SD345_D13 一般構造物 [規]10t未満	0.24	t			SS000099 00 単第0 -0006 表
型枠 一般型枠	20	m2			Y1E05060905レベル4
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	20	m2			SPK24040155 00 単第0 -0007 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
断面修復工	1	式			Y1G032405　レベル3
左官工法 ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む　V=0.64m3	1	構造物			Y1G03240501レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.64m3	1	構造物			S1020041　00 単第0 -0008　表
左官工法 ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む　V=0.02m2	1	構造物			Y1G03240501レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない) 修復延べ体積0.1m3未満の場合	1	構造物			S1020043　00 単第0 -0009　表
強度回復工	1	式			Y3999　レベル3
内圧充填接合補強工 IPH工法	60	m2			Y4999　レベル4
内圧充填接合補強工 横向き 36箇所、注入1回、穿孔深さ7cm、特許料有	17.65	m2			V0000000100 00 単第0 -0010　表
内圧充填接合補強工 上向き 36箇所、注入1回、穿孔深さ7cm、特許料有	42.64	m2			V0000000101 00 単第0 -0018　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
低圧注入器 ひび割れ注入工	1	個			F0000000112 00
表面保護工	1	式			Y3999　　レベル3
下地処理工 高圧洗浄	157	m2			Y4999　　レベル4
下地処理工 高圧洗浄	157	m2			V0000000002 00 単第0 -0026　表
含浸材塗布工 ケイ酸塩系ナトリウム含浸材	157	m2			Y4999　　レベル4
表面含浸工 ケイ酸塩系ナトリウム含浸材 スーパーシールド工法	157	m2			V0000000001 00 単第0 -0027　表
橋脚補強工	1	式			Y3999　　レベル3
コンクリート 24N	2	m3			Y1E05060903レベル4
橋台・橋脚コンクリート打設 24-12-20(25)BB	2	m3			S3080　　00 単第0 -0028　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート削孔 削孔長240～310mm 無収縮モルタル	37	本			Y4999　　レベル4
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ200mm以上400mm以下	37	孔			SPK24040118 00 単第0 -0031　表
無収縮モルタル	0.01	m3			F0000000030 00
鉄筋 SD345_D16～D25	0.08	t			Y1E05060904レベル4
鉄筋工 SD345_D16～D25 一般構造物 [規]10t未満	0.08	t			SS000099　　00 単第0 -0032　表
型枠 一般型枠	14	m2			Y1E05060905レベル4
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	14	m2			SPK24040155 00 単第0 -0007　表
基礎根固め工	1	式			Y3999　　レベル3
コンクリート 無収縮モルタル	1	m3			Y1E05060903レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート 小型構造物 コンクリート(各種) バックホウ(クレーン機能付)打設	1	m3			SPK24040153 00 単第0 -0033 表
型枠 一般型枠	6	m2			Y1E05060905レベル4
型枠 一般型枠 小型構造物	6	m2			SPK24040155 00 単第0 -0034 表
洗堀防止工	1	式			Y3999 レベル3
ふとんかご 1.2×2.0×0.5	20	m			Y1G03280418レベル4
ふとんかご 設置 スロープ式 高さ50㎝×幅120㎝	20	m			SPK24040135 00 単第0 -0035 表
橋梁付属物工	1	式			Y3999 レベル3
水切工	19	m			Y4999 レベル4
水切設置工 EPDMスポンジ	19	m			V0000000003 00 単第0 -0036 表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ベースプレート式ガードレール C種 笠木付き	20	m			Y1E02080101レベル4
ベースプレート式ガードレール（笠木付） C種【材工共】	20	m			F0000000040 00
コンクリート削孔 削孔長170～250㎜ 無収縮モルタル	48	本			Y4999　　レベル4
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ30㎜以上200㎜未満	24	孔			SPK24040118 00 単第0 -0005　表
コンクリート削孔(電動ハンマドリル) 削孔深さ200㎜以上400㎜以下	24	孔			SPK24040118 00 単第0 -0031　表
無収縮モルタル	0.01	m3			F0000000030 00
橋面工	1	式			Y2999　　レベル2
橋面防水工	1	式			Y3999　　レベル3
橋面防水工	74	m2			Y4999　　レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
橋面防水工(補修) 塗膜系防水 アスファルト系	74	m2			SS000255 00 単第0 -0037 表
スラブドレーン コンクリート床版用標準タイプ 標-２	7	組			F0000000020 00
排水用導水管 SUS φ18mm	45	m			F0000000021 00
アスファルト舗装用成形目地材 ボンドテープ同等品 t=5mm b=30mm	40	m			F0000000022 00
舗装打換え工	1	式			Y1G030402 レベル3
表層 再生密粒度As(20) 1層当り平均仕上厚60mm	74	m2			Y1G03040211レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員3.0m超 1層当り平均仕上厚60mm	74	m2			SPK24040241 00 単第0 -0038 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
構造物取壊し工	1	式			Y1G032706 レベル3

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート構造物取壊し	1	m3			Y1G03270601レベル4
構造物とりこわし工(鉄筋構造物) 機械施工	1	m3			SDT00033　00 単第0 -0039　表
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	14	m			Y1G03270602レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	14	m			SPK24040306 00 単第0 -0040　表
舗装版破砕 アスファルト舗装版	59	m2			Y1G03270603レベル4
舗装版破砕積込(小規模土工)	59	m2			SPK24040018 00 単第0 -0041　表
運搬処理工	1	式			Y1G032716　レベル3
殻運搬 コンクリート殻（無筋）	1	m3			Y1G03271601レベル4
殻運搬 吹付法面とりこわし(モルタル) DID区間無し 運搬距離6.0km以下(4.5km超)	1	m3			SPK24040151 00 単第0 -0042　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 コンクリート殻（鉄筋）	1	m3			Y1G03271601レベル4
殻運搬 吹付法面とりこわし(モルタル) DID区間無し 運搬距離6.0km以下(4.5km超)	1	m3			SPK24040151 00 単第0 -0042 表
殻運搬 アスファルト殻	4	m3			Y1G03271601レベル4
殻運搬 舗装版破砕 DID区間無し 運搬距離1.5km以下(1.0km超)	4	m3			SPK24040151 00 単第0 -0043 表
殻処分 コンクリート殻（無筋）	2	t			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
コンクリート殻（無筋）処分費 （株）スナダ	2	t			F0000000015 00
殻処分 コンクリート殻（鉄筋）	2	t			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
コンクリート殻（鉄筋）処分費 （株）スナダ	2	t			F0000000016 00
殻処分 アスファルト殻	8	t			Y1G03271602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻処分費 東亜道路工業（株）広島瀬野川アスコン	8	t			F0000000017 00
仮設工	1	式			Y1G0328　　レベル2
土留・仮締切工	1	式			Y1G032804　レベル3
土のう	18	袋			Y1G03280419レベル4
大型土のう製作・設置(BH設置)	18	袋			SHD10003　　00 単第0 -0044　表
大型土のう撤去 作業半径 6m以下	18	袋			SHD10011　　00 単第0 -0046　表

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
仮設足場工	1	式			Y3999　レベル3
吊足場	69	m2			Y4999　レベル4
足場工(床版補強工) 桁高1.5m未満	69	m2			S3030011　00 単第0 -0048　表
足場工（朝顔）（床版補強工） 両側朝顔	69	m2			S3030013　00 単第0 -0049　表
防護工（床版補強工） シート張防護工 両側朝顔	69	m2			S3030015　00 単第0 -0050　表
足場支保工 手摺先行型枠組足場	71	掛m2			Y4999　レベル4
手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場 手摺先行型枠組足場	71	掛m2			S0380　00 単第0 -0051　表
水替工	1	式			Y1G032806　レベル3
ポンプ排水 排水量 0以上40未満 (m3/h) 作業時排水	19	日			Y1G03280601レベル4

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
ポンプ設置・撤去	1	箇所			SHD10037 00 単第0 -0052 表
ポンプ運転 排水量 0以上40未満 (m3/h) 作業時排水	19	日			S1050031 00 単第0 -0054 表
仮水路工	1	式			Y1G032808 レベル3
暗渠排水管	16	m			Y1G03280803レベル4
暗渠排水管 据付・撤去 波状管及び網状管 450～600mm ダブル 合成樹脂排水材 呼び径500mm	16	m			SPK24040092 00 単第0 -0057 表
交通管理工	1	式			Y1G032821 レベル3
交通誘導警備員	20	人			Y1G03282101レベル4
交通誘導警備員B	20	人			R0369 00
＊＊直接工事費＊＊ #0020計=支給品等(材料),無償貸付					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
共通仮設費率分					Z0019
計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊共通仮設費計＊＊					
＊＊純工事費＊＊					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事原価＊＊					
一般管理費率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					

本工事費　内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
＊＊工事価格＊＊					
＊＊消費税相当額＊＊ 計算情報…… 対象額…… 率……					
＊＊工事費計＊＊					
＊＊契約保証費計＊＊					

施工単価表

掘削　　SPK24040001　　単第0 -0001　表

土砂 上記以外(小規模)　　標準　　1　　m3　　当り

機械構成比:　27.26%　　労務構成比:　61.70%　　材料構成比:　11.04%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　1,212.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	27.26%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	61.70%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.04%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　土砂 E=7　標準			B=5　上記以外(小規模)		

施工単価表

路体(築堤)盛土　　SPK24040004　　単第0 -0002　表

施工幅員4.0m以上　　施工数量20,000m3未満 障害無し　　1　m3　当り

機械構成比: 17.97%　労務構成比: 66.93%　材料構成比: 15.10%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 231.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	11.28%		<賃>ブルドーザ 湿地,7t級 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音		KTPC00036 KTPT00036
<賃>振動ローラ(土木用フラットSドラム型) 質量11～12t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	6.69%		振動ローラ(土工用) [フラット・シングルドラム型] 質量11～12t		KTPC00058 KTPT00058
運転手(特殊)	46.30%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	20.63%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	15.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　施工幅員4.0m以上 C=1　障害無し			B=1　施工数量20,000m3未満		

施工単価表

土砂等運搬　　SPK24040002　　単第0 -0003　表

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)　　DID区間無し　距離10.0km以下(7.5km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　24.45%　　労務構成比:　63.42%　　材料構成比:　12.13%　　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価:　2,826.30000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	24.45%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	63.42%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	12.13%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2　小規模 C=1　土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=39　距離10.0km以下(7.5km超)			B=5　バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1　DID区間無し		

施工単価表

コンクリート　　SPK24040153　　単第0 -0004　表

無筋・鉄筋構造物 24-12-25(20)BB　　人力打設　　1　m3　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 29.40%　材料構成比: 70.60%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 28,051.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	13.20%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	7.51%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	6.69%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	70.60%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPC00343 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=1 24-12-25(20)BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)　SPK24040118　単第0 -0005　表

削孔深さ30㎜以上200㎜未満　1　孔　当り

機械構成比: 2.30%　労務構成比: 95.32%　材料構成比: 2.38%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 645.14000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	1.10%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40㎜	0.77%		電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40㎜		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	45.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.43%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.94%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)　SPK24040118　単第0 -0005　表

削孔深さ30㎜以上200㎜未満　1　孔　当り

機械構成比: 2.30%　労務構成比: 95.32%　材料構成比: 2.38%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 645.14000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1　削孔深さ30㎜以上200㎜未満					

施工単価表

鉄筋工　　SS000099　　単第0 -0006　表

SD345_D13　　一般構造物［規]10t未満　　1　t　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
加工・組立【手間のみ】 一般構造物	1.000	t			
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D13 単位質量0.995kg/m	1.030	t			1*1.03
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1　- D=1　一般構造物 F=2　[規]10t未満			B=5　SD345_D13 E=1　- H=1　-		
I=1　- K=6　差筋及び杭頭処理			J=1　-		

施工単価表

型枠　　SPK24040155　　単第0 -0007　表

一般型枠　　鉄筋・無筋構造物　　1　　m2　　当り

機械構成比:　0.00%　労務構成比:　100.00%　材料構成比:　0.00%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　9,352.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	46.19%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	25.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.57%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=1　鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

断面修復工(左官工法)　　S1020041　　単第0 -0008　表

(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む)　　修復延べ体積0.64m3　　1　　構造物　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	14.720	人			
特殊作業員	24.320	人			
普通作業員	16.000	人			
断面修復材 ポリマーセメントモルタル 左官工法用	0.755	m3			
諸雑費	11	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	構造物			
A=0.64　1構造物当り修復延べ体積(m3/構造物) C=0.64　断面修復材の設計数量(m3/構造物)			B=5　【F】断面修復材(m3)		

施工単価表

断面修復工(左官工法)　S1020043　単第0 -0009　表

(鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含まない)　修復延べ体積0.1m3未満の場合　1　構造物　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.900	人			
特殊作業員	3.200	人			
普通作業員	2.100	人			
断面修復材 ポリマーセメントモルタル 左官工法用	0.024	m3			
諸雑費	9	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	構造物			
A=5　【F】断面修復材(m3)			B=0.02　断面修復材の設計数量(m3/構造物)		

施工単価表

内圧充填接合補強工　V0000000100　単第0 -0010　表

横向き　36箇所、注入1回、穿孔深さ7cm、特許料有　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
サンディング 横向き	1	m2			単第0-0011　表
マーキング 横向き 36箇所/m2	1	m2			単第0-0012　表
穿孔工 横向き 36孔/m2、穿孔深さ7cm	1	m2			単第0-0013　表
台座取付工 横向き 取付36個/m2	1	m2			単第0-0014　表
樹脂漏れ防止 横向き	1	m2			単第0-0015　表
注入工 横向き 注入36孔/m2、注入1回	1	m2			単第0-0016　表
撤去工 横向き 撤去36箇所/m2	1	m2			単第0-0017　表
特許料 断面注入及び浮き補修	1	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

サンディング　　V0000000102　　単第0 -0011　表

横向き　　10　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.142	人			
特殊作業員	0.284	人			
普通作業員	0.284	人			
VDRダイヤモンド吸塵システム 本体セット	10	m2			
VDR研掃 本体用特殊替刃	10	m2			
諸雑費	5	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

マーキング　　V0000000103　　単第0 -0012　表

横向き　　36箇所/m2　　10　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.104	人			
特殊作業員	0.208	人			
普通作業員	0.208	人			
諸雑費	5	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

穿孔工　　V0000000104　　単第0 -0013　表

横向き　　36孔/m2、穿孔深さ7cm　　10　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.41	人			
特殊作業員	2.81	人			
普通作業員	2.81	人			
IPHミストダイヤNew 水循環型	10	m2			
IPHミストダイヤNewフィルター	10	m2			
IPHミストダイヤカッター 5～7mm	10	m2			
諸雑費	5	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

台座取付工　　V0000000105　　単第0 -0014　表

横向き　　取付36個/m2　　10　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.469	人			
特殊作業員	0.939	人			
普通作業員	0.939	人			
IPHJP台座 　プラスティック容器	360	個			
ピックアップシール	9.9	kg			
諸雑費	5	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

樹脂漏れ防止　　V0000000106　　単第0 -0015　表

横向き　　10　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.156	人			
特殊作業員	0.313	人			
普通作業員	0.313	人			
IPH#300 防錆剤入りポリマーセメントペースト	18.7	kg			
諸雑費	5	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

注入工　　V0000000107　　単第0 -0016　表

横向き　　注入36孔/m2、注入1回　　10　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.781	人			
特殊作業員	1.56	人			
普通作業員	1.56	人			
IPH-E-396H 　潤滑用エポキシ樹脂	18	kg			
IPHジャバラ 　プラスティック容器	360	個			
IPHカプセル 　スプリング加圧式プラスティック製ケース	10	m2			
諸雑費	5	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

撤去工　V0000000108　単第0 -0017　表

横向き　撤去36箇所/m2　10　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.935	人			
特殊作業員	1.87	人			
普通作業員	1.87	人			
雑材料	5	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

内圧充填接合補強工　　V0000000101　　単第0 -0018　表

上向き　　36箇所、注入1回、穿孔深さ7cm、特許料有　　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
サンディング 上向きN=1.3	1	m2			単第0-0019　表
マーキング 上向きN=1.3 36箇所/m2	1	m2			単第0-0020　表
穿孔工 上向きN=1.3 36孔/m2、穿孔深さ7cm	1	m2			単第0-0021　表
台座取付工 上向きN=1.3 取付36個/m2	1	m2			単第0-0022　表
樹脂漏れ防止 上向きN=1.3	1	m2			単第0-0023　表
注入工 上向きN=1.3 注入36孔/m2、注入1回	1	m2			単第0-0024　表
撤去工 上向きN=1.3 撤去36箇所/m2	1	m2			単第0-0025　表
特許料 断面注入及び浮き補修	1	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

サンディング　　V0000000109　　単第0 -0019　表

上向きN=1.3　　10　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.185	人			
特殊作業員	0.369	人			
普通作業員	0.369	人			
VDRダイヤモンド吸塵システム 本体セット	10	m2			
VDR研掃 本体用特殊替刃	10	m2			
諸雑費	5	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

マーキング　　V0000000110　　単第0 -0020　表

上向きN=1.3　　36箇所/m2　　10　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.136	人			
特殊作業員	0.271	人			
普通作業員	0.271	人			
諸雑費	5	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

穿孔工　　V0000000111　　単第0 -0021　表

上向きN=1.3　　36孔/m2、穿孔深さ7cm　　10　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.83	人			
特殊作業員	3.66	人			
普通作業員	3.66	人			
IPHミストダイヤNew 水循環型	10	m2			
IPHミストダイヤNewフィルター	10	m2			
IPHミストダイヤカッター 5～7mm	10	m2			
諸雑費	5	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

台座取付工　　V0000000112　　単第0 -0022　表

上向きN=1.3　　取付36個/m2　　10　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.61	人			
特殊作業員	1.22	人			
普通作業員	1.22	人			
IPHJP台座 　プラスティック容器	360	個			
ピックアップシール	9.9	kg			
諸雑費	5	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

樹脂漏れ防止　　V0000000113　　単第0 -0023　表

上向きN=1.3　　10　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.203	人			
特殊作業員	0.407	人			
普通作業員	0.407	人			
IPH#300 防錆剤入りポリマーセメントペースト	18.7	kg			
諸雑費	5	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

注入工　　V0000000114　　単第0 -0024　表

上向きN=1.3　　注入36孔/m2、注入1回　　10　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.02	人			
特殊作業員	2.03	人			
普通作業員	2.03	人			
IPH-E-396H 潤滑用エポキシ樹脂	18	kg			
IPHジャバラ プラスティック容器	360	個			
IPHカプセル スプリング加圧式プラスティック製ケース	10	m2			
諸雑費	5	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

撤去工　　V0000000115　　単第0 -0025　表

上向きN=1.3　　撤去36箇所/m2　　10　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.22	人			
特殊作業員	2.43	人			
普通作業員	2.43	人			
雑材料	5	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

下地処理工　　V0000000002　　単第0 -0026　表

高圧洗浄　　100　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1	人			
特殊作業員	1	人			
普通作業員	1	人			
諸雑費	5	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

表面含浸工　　V0000000001　　単第0 -0027　表

ケイ酸塩系ナトリウム含浸材　　スーパーシールド工法　　300　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2	人			
特殊作業員	4	人			
普通作業員	4	人			
けい酸塩系表面保護材 スーパーシールド	86.3	L			
機械費 スーパーシールド工法 薬剤噴霧器、給水タンク、発電機（2KVA）	1	式			
雑材料	10	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	300	m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			

施工単価表

橋台・橋脚コンクリート打設　S3080　単第0 -0028　表

24-12-20(25)BB　10　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.060	人			0.06*1
特殊作業員	0.180	人			0.18*1
普通作業員	0.240	人			0.24*1
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度24,スランプ12,粗骨材20(25) W/C(55%),種別(高炉)	10.200	m3			
機-20_コンクリートポンプ車運転 トラック架装ブーム式　90～110m3/h	0.060	日			単第0-0029　表
養生工 一般養生 鉄筋構造物	10	m3			単第0-0030　表
諸雑費	3	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=3　24-12-20(25)BB F=0　30mを超える部分の圧送管延長（m） J=1　小型車割増なし			C=1　一般養生 I=0　潮待割増		

施工単価表

機-20_コンクリートポンプ車運転　　S9238　　単第0 -0029　表
トラック架装ブーム式　90～110m3/h　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	66.00	L			
コンクリートポンプ車 トラック架装・ブーム式 圧送能力90～110m3/h	1.04	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　運転労務数量（人/日） C=1.04　ポンプ車損料数量（供用日/日） E=6　トラック架装ブーム式　90～110m3/h			B=66　軽油消費量（L/日） D=0　圧送管損料数量（供用日/日）		

施工単価表

養生工　　S0306　　単第0 -0030　表

一般養生　　鉄筋構造物　　10　　m3　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.050	人			
普通作業員	0.130	人			
諸雑費	21	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	m3			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　一般養生			B=2　鉄筋構造物		

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)　SPK24040118　単第0 -0031 表

削孔深さ200㎜以上400㎜以下　1 孔 当り

機械構成比: 2.10% 労務構成比: 95.73% 材料構成比: 2.17% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価： 955.04000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音	0.99%		<賃>発動発電機(ガソリン発電機) 定格容量2kVA 低騒音		KTPC00041 KTPT00041
その他 電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40㎜	0.69%		電動ハンマドリル 穴あけ能力φ38～40㎜		MTPC00146 MTPT00146
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	44.77%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	18.51%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	13.31%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.74%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

コンクリート削孔(電動ハンマドリル)　SPK24040118　単第0 -0031　表

削孔深さ200㎜以上400㎜以下　1　孔　当り

機械構成比: 2.10%　労務構成比: 95.73%　材料構成比: 2.17%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 955.04000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=2　削孔深さ200㎜以上400㎜以下					

施工単価表

鉄筋工　　SS000099　　単第0 -0032　表

SD345_D16～D25　　一般構造物 [規]10t未満　　1　　t　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
加工・組立【手間のみ】 一般構造物	1.000	t			
異形棒鋼<JISG3112> SD345,D16～25	1.030	t			1*1.03
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	t			
A=1　- D=1　一般構造物 F=2　[規]10t未満			B=6　SD345_D16～D25 E=1　- H=1　-		
I=1　- K=6　差筋及び杭頭処理			J=1　-		

施工単価表

コンクリート　　SPK24040153　　単第0 -0033　表

小型構造物 コンクリート(各種)　　バックホウ(クレーン機能付)打設　　1　m3　当り

機械構成比: 3.69%　労務構成比: 37.88%　材料構成比: 58.43%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 34,650.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	3.49%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	11.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	10.01%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.75%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.47%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
無収縮モルタル	56.64%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		F0000000030 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	1.69%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

コンクリート　　SPK24040153　　単第0 -0033　表

小型構造物 コンクリート(各種)　　バックホウ(クレーン機能付)打設　　1　m3　当り

機械構成比: 3.69%　労務構成比: 37.88%　材料構成比: 58.43%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 34,650.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 小型構造物 C=4 コンクリート(各種) F=2 一般養生 K=1 -(全ての費用)			B=2 バックホウ(クレーン機能付)打設 D=30 【F】コンクリート(m3) J=1 -		

施工単価表

型枠　　SPK24040155　　単第0 -0034　表

一般型枠　　小型構造物　　1　　m2　　当り

機械構成比:　0.00%　労務構成比:　100.00%　材料構成比:　0.00%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　8,483.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	43.77%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	31.27%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	11.92%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1　一般型枠 C=1　-(全ての費用)			B=2　小型構造物		

施工単価表

ふとんかご　　SPK24040135　　単第0 -0035　表

設置　　スロープ式 高さ50cm×幅120cm　　1　m　当り

機械構成比: 5.56%　労務構成比: 30.79%　材料構成比: 63.65%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 15,105.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排3 山積0.8/平積0.6m3	5.56%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排3 山積0.8/平積0.6m3		MTPC00152 MTPT00152
普通作業員	15.82%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	5.16%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
特殊作業員	5.12%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	4.69%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
角形じゃかごパネルタイプ GS-3,線径4.0(#8) 網目13cm,高さ50cm,幅120cm	31.55%		ふとんかご角形パネルタイプ GS-3線径4.0mm(#8)網目13cm,50cm×120cm		TTPC00036 TTPT00036
割ぐり石 200～150mm	24.71%		詰石割栗石 150-200mm		TTPC00007 TTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	2.12%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

ふとんかご　　SPK24040135　　単第0 -0035　表

設置　　スロープ式 高さ50cm×幅120cm　　1　m　当り

機械構成比: 5.56%　労務構成比: 30.79%　材料構成比: 63.65%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 15,105.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 設置 C=2 高さ50cm×幅120cm			B=1 スロープ式		

施工単価表

水切設置工　　V0000000003　　単第0 -0036　表

EPDMスポンジ　　100　m　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.12	人			
特殊作業員	1.12	人			
普通作業員	2.23	人			
水切材 EPDMスポンジ　ウォーターカッター	100	m			
諸雑費	5	%			#01
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	m			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m			

施工単価表

橋面防水工(補修) 塗膜系防水　　SS000255　　単第0 -0037　表

アスファルト系　　1　　m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
塗膜系防水【材工共】 アスファルト系 補修	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　　-					

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK24040241　単第0 -0038　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚60mm　1　m2　当り

機械構成比: 1.35%　労務構成比: 9.47%　材料構成比: 89.18%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,836.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅2.3～6.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.87%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3～6.0m		KTPC00060 KTPT00060
<賃>タイヤローラ 質量8～20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.13%		タイヤローラ 質量8～20t		KTPC00007 KTPT00007
<賃>ロードローラ(マカダム) 質量10～12t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)	0.13%		ロードローラ [マカダム]質量10t～12t		KTPC00047 KTPT00047
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	1.94%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	1.89%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.67%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)　SPK24040241　単第0 -0038　表

平均幅員3.0m超　1層当り平均仕上厚60mm　1　m2　当り

機械構成比: 1.35%　労務構成比: 9.47%　材料構成比: 89.18%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,836.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	81.56%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.06%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.47%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=4 平均幅員3.0m超 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=60 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):60.000(mm)					

施工単価表

構造物とりこわし工(鉄筋構造物)　SDT00033　単第0 -0039　表

機械施工　1　m3　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_鉄筋構造物【手間のみ】 機械施工 時間的制約なし	1.000	m3			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m3			
A=1　昼間施工 C=1　-			B=1　機械施工 D=1　時間的制約なし		

施工単価表

舗装版切断　　SPK24040306　　単第0 -0040　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 15.42%　労務構成比: 57.13%　材料構成比: 27.45%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価: 673.26000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.49%		コンクリートカッタ バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.60%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.55%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.73%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	23.29%		コンクリートカッタブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.83%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版切断　　SPK24040306　　単第0 -0040　表

アスファルト舗装版　　アスファルト舗装版厚15cm以下　　1　m　当り

機械構成比: 15.42%　労務構成比: 57.13%　材料構成比: 27.45%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 673.26000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
積算単価			積算単価		EP001
A=1 アスファルト舗装版 E=1 -(全ての費用)			B=1 アスファルト舗装版厚15cm以下		

施工単価表

舗装版破砕積込(小規模土工)　　SPK24040018　　単第0 -0041　表

1　m2　当り

機械構成比: 20.80%　労務構成比: 71.28%　材料構成比: 7.92%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 1,690.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.80%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.28%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.92%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1　-(全ての費用)					

施工単価表

殻運搬　　SPK24040151　　単第0 -0042　表

吹付法面とりこわし(モルタル)　　DID区間無し 運搬距離6.0km以下(4.5km超)　　1　　m3　　当り

機械構成比:　21.53%　労務構成比:　64.89%　材料構成比:　13.58%　市場単価構成比:　0.00%　　標準単価：　1,760.80000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>ダンプトラック 積載質量4t	21.53%		ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 4t積級		KTPC00055 KTPT00055
運転手(一般)	64.89%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	13.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=4　吹付法面とりこわし(モルタル) C=1　DID区間無し E=1　-(全ての費用)			B=1　機械積込 D=27　運搬距離6.0km以下(4.5km超)		

施工単価表

殻運搬　　SPK24040151　　単第0 -0043　表

舗装版破砕　　DID区間無し　運搬距離1.5km以下(1.0km超)　　1　m3　当り

機械構成比:　18.57%　労務構成比:　72.35%　材料構成比:　9.08%　市場単価構成比:　0.00%　標準単価:　2,415.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	18.57%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	72.35%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	9.08%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3　舗装版破砕 C=1　DID区間無し E=1　-(全ての費用)			B=4　機械積込(小規模土工) D=6　運搬距離1.5km以下(1.0km超)		

施工単価表

大型土のう製作・設置(BH設置)　　SHD10003　　単第0 -0044　表

10　袋　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.278	人			1*0.278
特殊作業員	0.278	人			1*0.278
普通作業員	0.278	人			1*0.278
1t土のう 丸型,径110cm×長108cm	10.000	枚			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.278	日			単第0-0045　表
諸雑費	4	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	袋			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	袋			
A=1　1t土のう(丸型,径110cm×長108cm)					

施工単価表

機-28_バックホウ運転(賃料)　S9035　単第0 -0045　表

クレーン付2.9t吊_山積0.8m3　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	104.00	L			
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.39	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=21　クレーン付2.9t吊_山積0.8m3 C=1　運転労務数量(人/日)			B=104　軽油消費量(L/日) D=1.39　機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

大型土のう撤去　　SHD10011　　単第0 -0046　表

作業半径 6m以下　　10　袋　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.069	人			1*0.069
特殊作業員	0.069	人			1*0.069
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.069	日			単第0-0047　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　合計　＊＊＊	10	袋			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	袋			
A=1　　作業半径 6m以下					

施工単価表

機-28_バックホウ運転(賃料)　S9035　単第0 -0047　表

クレーン付2.9t吊_山積0.8m3　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	78.00	L			
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.26	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=21　クレーン付2.9t吊_山積0.8m3 C=1　運転労務数量(人/日)			B=78　軽油消費量(L/日) D=1.26　機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

足場工(床版補強工)　S3030011　単第0 -0048　表

桁高1.5m未満　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工	0.130	人			
足場損料	4.500	月			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=2　桁高1.5m未満			B=4.5　主体足場を架設している供用月数(月)		

施工単価表

足場工（朝顔）（床版補強工）　S3030013　単第0 -0049　表

両側朝顔　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工	0.022	人			
足場損料	4.500	月			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　両側朝顔			B=4.5　朝顔を架設している供用月数		

施工単価表

防護工（床版補強工）　S3030015　単第0 -0050　表

シート張防護工　両側朝顔　1　m2　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
橋りょう特殊工	0.004	人			
シート張防護材損料	4.500	月			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	m2			
A=1　両側朝顔 C=4.5　防護工を架設している供用月数			B=2　シート張防護工		

施工単価表

手摺先行型枠組・単管・単管傾斜足場　　S0380　　単第0 -0051　表

手摺先行型枠組足場　　100　　掛m2　　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.600	人			
とび工	7.000	人			
普通作業員	1.300	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊,オペレータ付 排1～3,2011,2014	1.400	日			
諸雑費	34	%			#09
＊＊＊　合計　＊＊＊	100	掛m2			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	掛m2			
A=1　手摺先行型枠組足場 C=0　潮待割増			B=1　安全ネットを設置しない		

施工単価表

ポンプ設置・撤去　　SHD10037　　単第0 -0052　表

1　箇所　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.500	人			
特殊作業員	0.100	人			
普通作業員	2.000	人			
機-28_バックホウ運転(賃料) クレーン付2.9t吊_山積0.8m3	0.500	日			単第0-0053　表
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	箇所			

施工単価表

機-28_バックホウ運転(賃料)　S9035　単第0 -0053　表

クレーン付2.9t吊_山積0.8m3　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(特殊)	1.00	人			
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	65.00	L			
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1～3,2011,2014	1.16	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=12　クレーン付2.9t吊_山積0.8m3 C=1　運転労務数量(人/日)			B=65　軽油消費量(L/日) D=1.16　機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

ポンプ運転　　S1050031　　単第0 -0054　表

排水量 0以上40未満 (m3/h)　　作業時排水　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.140	人			
建設用ポンプ(水中ポンプ)運転 口径150mm,揚程10m 7.5kw	1.000	日			単第0-0055　表
機-16_発動発電機運転 ディーゼル25kVA 排出ガス対策型2次基準	1.000	日			単第0-0056　表
諸雑費	3	%			#09
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=1　排水量 0以上40未満 (m3/h)			B=1　作業時排水		

施工単価表

建設用ポンプ(水中ポンプ)運転　S9000045　単第0 -0055　表

口径150㎜,揚程10m　7.5kw　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
<賃>建設用ポンプ(水中ポンプ) 口径150㎜,揚程10m 7.5kw	1.20	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=3　口径150㎜,揚程10m			B=1.2　機械賃料数量(供用日/日)		

施工単価表

機-16_発動発電機運転　　S9469　　単第0 -0056　表

ディーゼル25kVA　　排出ガス対策型2次基準　　1　日　当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	22.00	L			
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 定格容量25kVA 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	1.20	供用日			
諸雑費	1	式			
＊＊＊　単位当たり　＊＊＊	1	日			
A=6　ディーゼル25kVA C=1.2　機械賃料数量(供用日/日)			B=22　燃料消費量(L/日) D=3　排出ガス対策型2次基準		

施工単価表

暗渠排水管　　SPK24040092　　単第0 -0057　表

据付・撤去 波状管及び網状管 450～600㎜　ダブル 合成樹脂排水材 呼び径500㎜　　1　m　当り

機械構成比: 0.00%　労務構成比: 5.57%　材料構成比: 94.43%　市場単価構成比: 0.00%　標準単価： 13,537.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	3.97%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.60%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
合成樹脂排水材(高密度ポリエチレン管) <ダブル構造>内面平滑管(有孔・無孔) 呼び径500㎜	94.43%		暗渠排水管 波状管 呼び径500㎜ 高密度ポリエチレン管(シングル構造)		TTPCD0264 TTPT00192
積算単価			積算単価		E9999
A=3 据付・撤去 C=3 450～600㎜ F=1 継手材料費要 H=0 現場の状況による材料損料率の率乗算			B=2 波状管及び網状管 D=25 ダブル 合成樹脂排水材 呼び径500㎜ G=2 期間3ヶ月未満(損料率0.2) I=1 -(全ての費用)		
【管材料単価】 管材料単価(円) * (材料損料率 + (材料損料率 * 現場状況による材料損料率の率乗算))					

僧原上橋　工事数量総括表

工種	種　別	細　別	規　格	単位	補修数量									
					上部工	下部工					路面工	合　計	計　上 【当初】	計　上 【変更】
						A1橋台	A2橋台	橋脚	基礎部	下部工計				
道路土工	掘削工	掘削	土砂撤去　t=270mm	m3	—	—	—	—	—	—	20.00	20.00	20	
		残土処分	土砂運搬・処分	t	—	—	—	—	—	—	36.00	36.00	36	
	路体盛土工	路体盛土	施工幅員4.0m以上	m3	—	—	—	—	—	—	20.00	20.00	20	
			再生盛土材　スーパーソル　L2	m3	—	—	—	—	—	—	26.67	26.67	27	
橋梁補修工	橋梁地覆補修工	型枠	一般型枠(鉄筋・無筋)	m2	—	—	—	—	—	—	19.73	19.73	20	
		コンクリート	σck＝24N/mm2	m3	—	—	—	—	—	—	3.76	3.76	4	
		コンクリート削孔	23φ×140～150	本	—	—	—	—	—	—	246	246	246	
			無収縮モルタル	m3	—	—	—	—	—	—	0.01	0.01	0.01	
		鉄筋	SD345　D13mm	kg	—	—	—	—	—	—	240	240	240.00	
	断面修復工 (防錆処理有) (ロス率は概算工事費に計上)	ポリマーセメントモルタル d＝5～30cm	面積	m2	6.39	—	0.06	2.83	—	2.89	—	9.28	9.28	
			体積	m3	0.32	—	0.01	0.31	—	0.32	—	0.64	0.64	
			重量	kg	560.00	—	17.50	542.50	—	560.00	—	1120.00	1120.00	
	断面修復工 (防錆処理無) (ロス率は概算工事費に計上)	ポリマーセメントモルタル d＝5～10cm	面積	m2	—	0.07	0.11	—	—	0.18	—	0.18	0.18	
			体積	m3	—	0.01	0.01	—	—	0.02	—	0.02	0.02	
			重量	kg	—	17.50	17.50	—	—	35.00	—	35.00	35.00	
	床版内圧充填接合補強工	IPH工法	面積	m2	60.29	—	—	—	—	—	—	60.29	60	
	表面含侵工	下地処理工	高圧洗浄	m2	113.09	—	—	37.76	—	37.76	5.86	156.71	157	
		表面保含侵工 (スーパーシールド工法)	ケイ酸塩系ナトリウム含浸材	m2	113.09	—	—	37.76	—	37.76	5.86	156.71	157	
			1回塗(0.15kg/m2)	ℓ	—	—	—	—	—	—	—	23.51	23.51	
			2回塗(0.10kg/m2)	〃	—	—	—	—	—	—	—	15.67	15.67	

僧原上橋　工事数量総括表

工種	種　別	細　別	規　格	単位	補修数量									
					上部工	下部工					路面工	合　計	計　上 【当初】	計　上 【変更】
						A1橋台	A2橋台	橋脚	基礎部	下部工計				
	橋脚補強工	型枠	一般型枠(鉄筋・無筋)	m2	—	—	—	14.28	—	14.28	—	14.28	14	
		コンクリート	σck＝24N/mm2	m3	—	—	—	2.14	—	2.14	—	2.14	2	
		コンクリート削孔	26φ×240～310	本	—	—	—	37	—	37	—	37.00	37	
			無収縮モルタル	m3	—	—	—	0.01	—	0.01	—	0.01	0.01	
		鉄筋	SD345　D16mm	kg	—	—	—	75	—	75	—	75	75.00	
	基礎根固め工 (型枠注入工法)	型枠	一般型枠(小型)	m2	—	1.82	—	—	4.65	6.47	—	6.47	6	
		コンクリート	無収縮モルタル	m3	—	0.27	—	—	0.44	0.71	—	0.71	1	
	洗堀防止工	ふとんかご	1.2×2.0×0.5	基	—	—	—	—	10	10	—	10(20m)	10(20m)	
橋梁付属物工	水切り設置工	EPDM系ゴム	25mm×20mm	m	19.40	—	—	—	—	—	—	19.40	19	
	ガードレール	防護柵設置工	C種　笠木付き	m	—	—	—	—	—	—	19.63	19.63	20	
		コンクリート削孔	26φ×170	本	—	—	—	—	—	—	24	24	24	
			26φ×250	本	—	—	—	—	—	—	24	24	24	
			無収縮モルタル	m3	—	—	—	—	—	—	0.01	0.01	0.01	
橋面工	橋面防水工 路面補修工	補修復旧工	アスファルト舗装　t=60mm	m2	—	—	—	—	—	—	74.06	74.06	74	
			塗膜系防水層　アスファルト加熱型	m2	—	—	—	—	—	—	74.06	74.06	74	
			ドレーンパイプ　床版用標準パイプ(標-2)	組	—	—	—	—	—	—	7	7	7	
			排水用　導水管　φ18mm	m	—	—	—	—	—	—	45	45	45	
			成形目地材　h＝30mm	m	—	—	—	—	—	—	40	40	40	
構	コンクリート構造物 取壊し	左官工法　撤去	無筋コンクリート構造物	m3	—	—	—	—	—	—	0.66	0.66	1	
			Co殻運搬・処分	t	—	—	—	—	—	—	1.55	1.55	2	

僧原上橋　工事数量総括表

工種	種　別	細　別	規　格	単位	補修数量									
					上部工	下部工					路面工	合　計	計　上 【当初】	計　上 【変更】
						A1橋台	A2橋台	橋脚	基礎部	下部工計				
構造物撤去工	コンクリート構造物取壊し	コンクリート高欄　撤去	鉄筋コンクリート構造物	m3	—	—	—	—	—	—	0.89	0.89	1	
			Co殻運搬・処分	t	—	—	—	—	—	—	2.23	2.23	2	
	舗装版破砕	舗装切断工	舗装切断工	m	—	—	—	—	—	—	14.20	14.20	14	
		舗装版破砕	アスファルト舗装　t=60mm	m3	—	—	—	—	—	—	3.54	3.54	4	
			AS殻運搬・処分	t	—	—	—	—	—	—	8.32	8.32	8	
仮設工	仮設工	土嚢築提	大型土嚢	袋	—	—	—	—	18	18	—	18	18	
		発電機	2KV	台	—	—	—	—	1	1	—	1	1	
		水中ポンプ	2インチ	台	—	—	—	—	1	1	—	1	1	
		暗渠排水管	VUφ500×4.00m	m	—	—	—	—	16	16	—	16	16	
		交通誘導警備員		人	—	—	—	—	—	—	—	20	20	
	足場工	吊足場(両側設置)	朝顔・シート張り	m2	68.99	—	—	—	—	—	—	68.99	69	
		枠組足場		掛m2	—	—	—	70.82	—	70.82	—	71	71	

2.補修数量

2.1 上部工補修数量

中間部（断面修復工とIPH工法との比較のため）

2.1.1 床板・主桁

位置	コンクリートひびわれ				遊離石灰		漏水		コンクリート断面欠損									
	0.2mm未満		遊離石灰						うき剥離		鉄筋露出 d=50mm		変形欠損		豆板（有筋）		表面劣化	
	表面保護工		橋面防水工にて対応						断面修復工（左官工法）								表面保護工	
	m								m2									
	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量
床版			4	0.40			42	0.20	3	0.01	59	0.09					80	0.10
			6	0.40			44	0.40	5	0.02	63	0.03					81	0.72
			10	0.40			45	0.20	7	0.02	70	0.04						
			11	0.70			47	0.80	8	0.03	71	0.13						
			13	0.50			49	0.20	26	0.04	73	0.09						
			17	0.30			51	0.90	27	0.01	79	0.13						
			18	0.30			52	0.80	28	0.01								
			19	0.30			53	0.40	29	0.01								
			20	0.60			54	0.20	30	0.04								
			21	0.30			56	0.20	31	0.04								
			22	0.50			57	0.10	32	0.09								
			23	0.40			65	0.40	34	0.06								
			24	0.20			66	0.20	35	0.02								
			25	0.50			67	0.20	37	0.04								
			33	0.40			68	0.40	40	0.01								
			36	0.40			69	0.40	41	0.01								
			39	0.50			75	0.40	43	0.04								
主桁	22	0.20	1	0.50			43	0.20	101	0.20	3	0.02	61	0.12	99	0.10	24	0.09
			2	0.30			47	0.60	102	0.35	4	0.10	63	0.86	100	0.09	103	0.15
			5	0.10			51	0.60	115	0.40	6	0.05	66	0.23	104	0.02	106	0.13
			7	0.60			57	0.30	116	0.30	13	0.02	71	0.02	114	0.12	137	0.15
			8	0.30			58	1.00	117	1.80	16	0.02	72	0.12	119	0.02	141	0.12
			10	0.30			59	0.80	118	0.30	19	0.24	73	0.06	123	0.04		
			11	0.40			64	0.50	120	0.80	21	0.17	74	0.01	125	0.36		
			12	0.80			65	1.10	122	0.20	27	0.24	75	0.06	126	0.11		
			20	0.30			68	0.70	124	0.50	28	0.05	78	0.03	132	0.05		
			31	0.60			69	0.25	127	0.20	44	0.09	79	0.06	134	0.07		
			32	1.10			70	0.30	128	0.30	45	0.04	80	0.66	139	0.08		
			33	0.70			87	0.60	131	0.20	46	0.02	81	0.12	148	0.03		
			34	0.70			88	0.30	136	0.40	49	0.60	82	0.18				
			35	0.70			89	0.10	140	0.60	52	0.24	84	0.06				
			41	0.20			90	0.10			54	0.03	86	0.33				
			42	0.20			94	0.20			60	0.06	91	0.03				

位置	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量
床版																					1	0.18	2	0.01	78	0.06							80	0.10
																					9	0.16	12	0.11	82	0.09							81	0.72
																					14	0.08	15	0.09	83	0.01								
																					76	0.05	16	0.09										
																							38	0.04										
																							46	0.13										
																							48	0.03										
																							50	0.09										
																							55	0.37										
																							58	0.09										
																							60	0.01										
																							61	0.01										
																							62	0.09										
																							64	0.03										
																							72	0.63										
																							74	0.33										
																							77	0.05										
主桁	22	0.20	1	0.50			43	0.20	101	0.20	3	0.02	61	0.12	99	0.10	24	0.09			14	0.04	9	0.15	93	0.23	151	0.54	23	0.07	18	0.20		
			2	0.30			47	0.60	102	0.35	4	0.10	63	0.86	100	0.09	103	0.15			15	0.03	17	0.01	96	0.28			107	0.04	25	0.39		
			5	0.10			51	0.60	115	0.40	6	0.05	66	0.23	104	0.02	106	0.13			95	0.04	26	0.02	98	0.01			108	0.04	29	0.09		
			7	0.60			57	0.30	116	0.30	13	0.02	71	0.02	114	0.12	137	0.15			113	0.01	37	0.01	105	0.01			109	0.11	30	0.05		
			8	0.30			58	1.00	117	1.80	16	0.02	72	0.12	119	0.02	141	0.12			144	0.03	38	0.01	110	0.01			111	0.02	36	0.04		
			10	0.30			59	0.80	118	0.30	19	0.24	73	0.06	123	0.04							39	0.01	112	0.01					53	0.14		
			11	0.40			64	0.50	120	0.80	21	0.17	74	0.01	125	0.36							40	0.01	130	0.04					56	0.04		
			12	0.80			65	1.10	122	0.20	27	0.24	75	0.06	126	0.11							48	0.02	133	0.01					77	0.09		
			20	0.30			68	0.70	124	0.50	28	0.05	78	0.03	132	0.05							50	0.02	135	0.01					97	0.02		
			31	0.60			69	0.25	127	0.20	44	0.09	79	0.06	134	0.07							55	0.01	138	0.01					121	0.04		
			32	1.10			70	0.30	128	0.30	45	0.04	80	0.66	139	0.08							62	0.02	142	0.04					129	0.12		
			33	0.70			87	0.60	131	0.20	46	0.02	81	0.12	148	0.03							67	0.01	143	0.05					149	0.10		
			34	0.70			88	0.30	136	0.40	49	0.60	82	0.18									76	0.01	145	0.01								
			35	0.70			89	0.10	140	0.60	52	0.24	84	0.06									83	0.03	146	0.02								
			41	0.20			90	0.10			54	0.03	86	0.33									85	0.03	147	0.01								
			42	0.20			94	0.20			60	0.06	91	0.03									92	0.14	150	0.01								

小　計	0.20		35.50						7.04								0.64		0.62		4.17				0.28		1.32		0.82			
補修数量																			6.39													
中間部の断面修復工面積（IPH工法と架け替えの比較用）																			0.10		3.09				0.21		0.54					

2.2 下部工補修数量

型枠注入工法

2.2.1 A1橋台

位置	コンクリートひびわれ												遊離石灰		漏水		コンクリート断面欠損											
	0.2mm未満		遊離石灰														うき剥離		変形欠損		豆板(有筋)		すり減り		欠損		洗堀	
																	d=50～100mm											
	表面保護工		橋面防水工にて対応														断面修復工(左官工法)						経過観察		型枠注入工			
	m												m2												m3			
	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量
A1橋台													7	0.07			1	3.50	6	0.06	3※	0.01			2	3.30	5	0.12	4	0.07
													8	0.35														14	0.08
													9	0.03															
													10	0.41															
													11	0.04															
													12	0.12															
													13	0.22															
小　計	0.00		0.00										1.24		3.50		0.06		0.01		0.00		3.30		0.12		0.15	
補修数量																	0.07								0.27			

※のはつり深さは次のとおり。　番号3:100mm

2.2.2 A2橋台

位置	コンクリートひびわれ												遊離石灰		漏水		コンクリート断面欠損											
	0.2mm未満		遊離石灰														うき剥離		変形欠損		豆板(有筋)		豆板(無筋)補修無		すり減り		欠損	洗堀
																	d=50mm											
	表面保護工		橋面防水工にて対応														断面修復工(左官工法)						経過観察				型枠注入工法	
	m												m2														m3	
	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量
A2橋台																	1	0.11	3	0.11			2	0.06	5	0.26				
																	4	5.37												
小　計	0.00		0.00										0.00		5.48		0.11		0.00		0.06		0.26		0.00		0.00		0.00	
補修数量																	0.17													

2.3 下部工補修数量

A2側・柱部　　型枠注入工法

2.3.1 P1橋脚

位置	コンクリートひびわれ				遊離石灰		漏水		コンクリート断面欠損																	
	0.2mm未満		遊離石灰						うき剥離		鉄筋露出		変形欠損		豆板(有筋)		表面劣化		鉄筋露出		変形欠損		豆板(無筋)補修有		洗堀	
									d=50～300mm																	
	表面保護工		橋面防水工にて対応						断面修復区(左官工法)								経過観察		型枠注入工法							
	m								m2														m3			
	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量
P1橋脚			6	0.10					4	0.03	48	0.06			2	0.05	1	0.12	20※	0.04	16	0.06			21	0.04	25	0.11	27	0.09
			18	1.00					5	0.07	50	0.03			3	0.02	11	0.22	24	0.01	45	0.27			22	0.12				
			42	1.00					8	0.07	51	0.05			7	0.09	12	0.13	28※	0.03					26	0.08				
			60	0.30					9	0.06	52	0.02			29	0.01	13	0.01	31※	0.05										
			61	0.30					10	0.09	53	0.18			32	0.11	15	0.01												
									14	0.11	54	0.05					17	0.12												
									19	0.11	55	0.03					23※	0.04												
									33	0.05	57	0.01					30	0.07												
									34	0.07	58	0.05					43	0.01												
									35	0.01	62	0.02					44	0.23												
									36	0.04	66	0.03					49	0.15												
									37	0.07	67	0.06					56	0.01												
									38	0.02	68	0.02					59	0.01												
									39	0.01							63	0.33												
									40	0.05							64	0.30												
									41	0.12							65	0.15												
									46	0.12							69	0.18												
									47	0.06																				
小　計	0.00		2.70		1.77		0.00		0.28		2.09		0.13		0.33		0.00		0.00		0.24		0.11		0.09	
補修数量									2.83												0.44					

※のはつり深さは次のとおり。　番号20：130mm、番号23：300mm、番号28：200mm
番号31：120mm

2.4 高欄工補修数量

2.4.1 コンクリート高欄

位置	コンクリートひびわれ				遊離石灰		漏水		コンクリート断面欠損													
	0.2mm未満		遊離石灰						うき剥離		鉄筋露出		変形欠損		豆板(有筋)		表面劣化					
									d=50mm													
	ガードレール設置																					
	m								m2													
	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量	番号	数量
コンクリート高欄																	1	0.12	2	0.05	12	0.03
																	10	0.02	3	0.01		
																	11	0.03	4	0.02		
																	13	0.03	5	0.03		
																			6	0.03		
																			7	0.03		
																			8	0.03		
																			9	0.01		
小　計	0.00		0.00		0.00		0.00		0.20		0.21		0.03		0.00		0.00					

3.断面修復工

3.1　断面修復工　床版　主桁　　修復深さ　d＝5cm

ポリマーセメントモルタル埋戻し　　防錆処理有

A ＝ 0.62 ＋ 4.17 ＋ 0.28 ＋ 1.32 ＝ **6.39** m2

V ＝ 6.39 × 0.05 ＝ **0.32** m3

体積(m3) × 密度(カタログによる)

w ＝ 0.32 × 1750 (kg/m3) ＝ **560.00 kg**

断面修復材　　V(m3) ＝ **0.32 m3**

3.2　断面修復工　A1橋台　修復深さ　d＝5～10cm

ポリマーセメントモルタル埋戻し　　防錆処理無

A ＝ 0.06 ＋ 0.01 ＝ **0.07** m2

V ＝ 0.06 × 0.05 ＝ **0.0030** m3

損傷内容	損傷番号	単 位	算　式	数　量	
欠損	③	m3	0.300×0.200×0.100	0.01	**0.0060** m3
				計 ＝	**0.01** m3

体積(m3) × 密度(カタログによる)

w ＝ 0.01 × 1750 (kg/m3) ＝ **17.50 kg**

断面修復材　　V(m3) ＝ **0.01 m3**

3.3　断面修復工　A2橋台　修復深さ　d＝5cm

ポリマーセメントモルタル埋戻し　　防錆処理有

A ＝ 0.06 ＝ **0.06** m2

V ＝ 0.06 × 0.05 ＝ **0.01** m3

体積(m3) × 密度(カタログによる)

w ＝ 0.01 × 1750 (kg/m3) ＝ **17.50 kg**

断面修復材　　V(m3) ＝ **0.01 m3**

3.4　断面修復工　A2橋台　修復深さ　d＝5cm

ポリマーセメントモルタル埋戻し　　防錆処理無

A ＝ 0.11 ＝ **0.11** m2

V ＝ 0.11 × 0.05 ＝ **0.01** m3

体積(m3) × 密度(カタログによる)

w ＝ 0.01 × 1750 (kg/m3) ＝ **17.50 kg**

断面修復材　　V(m3) ＝ **0.01 m3**

3.5　断面修復工　橋脚　　修復深さ d＝5～30cm

ポリマーセメントモルタル埋戻し　　防錆処理有

A ＝ 0.28 ＋ 2.09 ＋ 0.13 ＋ 0.33 ＝ **2.83** m2

V ＝ 2.67 × 0.05 ＝ **0.13** m3 (d=5cm)

損傷内容	損傷番号	単 位	算　式	数　量
欠損	⑳	m3	0.500×0.550×0.130	0.04
鉄筋露出	㉓	m3	{(0.518+0.370)×1/2}×0.275×0.300	0.04
欠損	㉘	m3	0.975×0.275×0.200	0.05
欠損	㉛	m3	0.996×0.450×0.120	0.05

0.18 m3 (d=12～30cm)

計 ＝ **0.31** m3

体積(m3) × 密度(カタログによる)

w ＝ 0.31 × 1750 (kg/m3) ＝ **542.50 kg**

断面修復材　V(m3) ＝ **0.31 m3**

3.6　型枠注入工　A1橋台

無収縮モルタル

V ＝ 0.12 ＋ 0.07 ＋ 0.08 ＝ **0.27** m3

体積(m3) × 密度(カタログによる)

w ＝ 0.27 × 1750 (kg/m3) ＝ **472.50 kg**

断面修復材　V(m3) ＝ **0.27 m3**

型枠

A ＝ 0.18 ＋ 1.46 ＋ 0.18 ＝ **1.82** m2

3.7　型枠注入工　橋脚

無収縮モルタル

V ＝ 0.04 ＋ 0.12 ＋ 0.11 ＋ 0.08 ＋ 0.09 ＝ **0.44** m3

体積(m3) × 密度(カタログによる)

w ＝ 0.44 × 1750 (kg/m3) ＝ **770.00 kg**

断面修復材　V(m3) ＝ **0.44 m3**

型枠

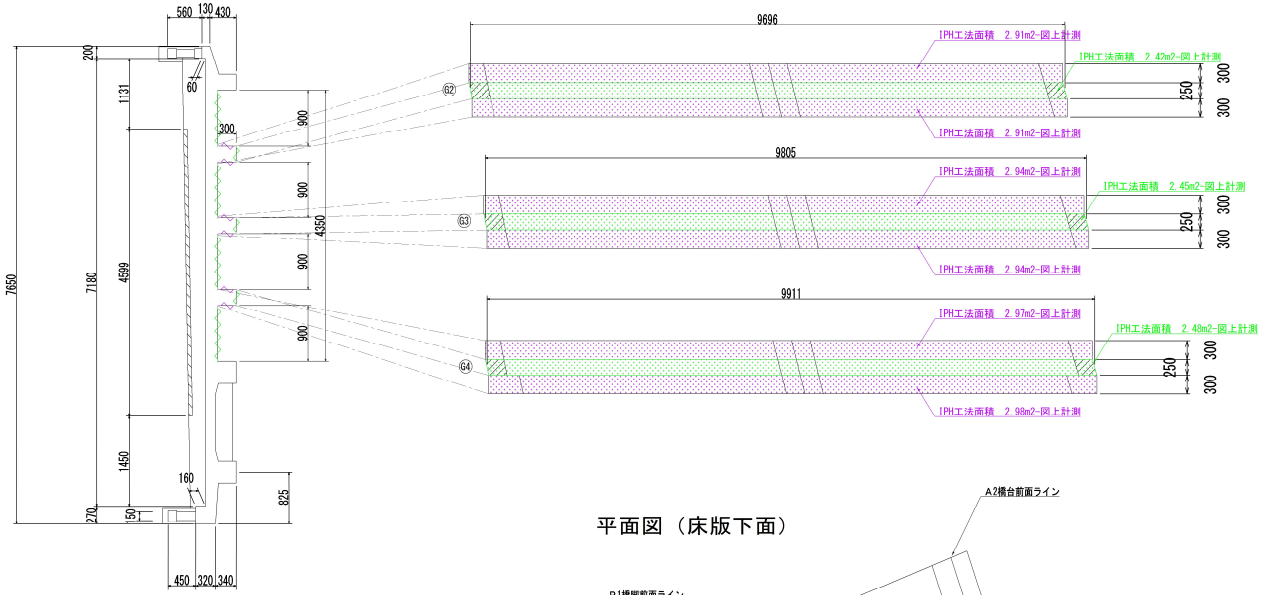
A ＝ 0.13 ＋ 2.92 ＋ 0.10 ＋ 1.20 ＋ 0.30 ＝ **4.65** m2

3.8　運搬処理工

上記、断面修復(左官工法)によって発生したCo殻の運搬処理を構造物撤去工にて計上

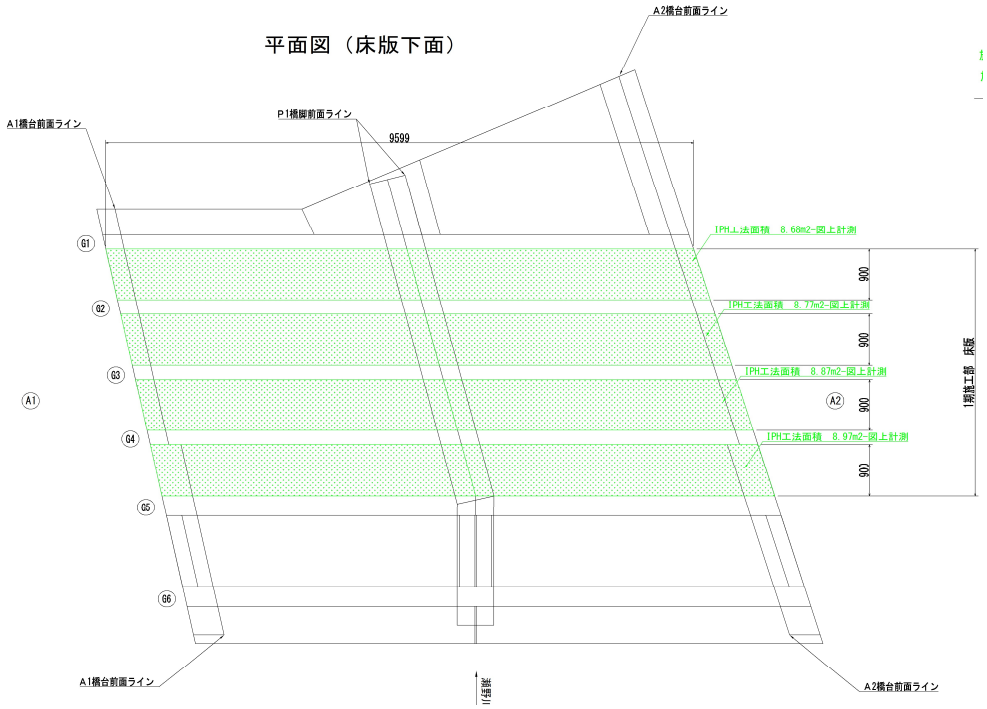
V ＝ 0.32 ＋ 0.01 ＋ 0.01 ＋ 0.01 ＋ 0.31 ＋ 0.27 ＋ 0.44 ＝ **0.66** m3

4. 床版下面内圧充填接合補強工　　参考図　1期施工部　床版



主桁下面　　7.35 m2
主桁側面　　17.65 m2

平面図（床版下面）



床版下面　　35.29 m2
合計　　60.29 m2